

# 山口県立美術館年報

平成17～18年

ANNUAL REPORT

2005～2006

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM







# 山口県立美術館年報

平成17～18年

ANNUAL REPORT

2005～2006

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM



# 目 次

山口県立美術館概要 .....	4
1) 事業	
I 展覧会事業 .....	5
(1) 特別展 .....	7
(2) 常設展 .....	22
II 教育普及事業 .....	35
(1) 山口県美術展覧会 .....	37
(2) 美術館ニュース「天花」 .....	41
(3) 展覧会貸出事業 .....	42
(4) 博物館実習 .....	43
(5) 美術館ボランティア .....	45
(6) 学校連携事業 .....	48
(7) その他の事業 .....	55
III 調査研究事業 .....	57
雪舟研究会 .....	59
IV 収集事業 .....	61
(1) 館蔵品貸出利用状況 .....	63
(2) コレクション .....	70
(3) 美術図書 .....	75
2) 入館者数一覧 .....	77
3) 組織等 .....	81

## 山口県立美術館概要

所在地	山口市亀山町3番1号
敷地面積	11,618.330平方メートル
建物概要	構 造 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造 建物面積 4,077.168平方メートル 建物延面積 5,477.880平方メートル
工 期	1977(昭和52)年8月～1979(昭和54)年3月
設 計	鬼頭梓建築設計事務所
管 理	山口県建築課 鬼頭梓建築設計事務所
施 工	鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社大気社／塩田工業株式会社
総工費	17億円

## 展覧会事業

### 常設展

館蔵品を通じて本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全貌、郷土の風土と生活のなかに育まれた代表的な工芸などをわかり易く常設展示する。

### 企画展

館の調査研究にもとづき、テーマを設定し、内外のすぐれた作品を借用するなどしてユニークな自主企画展示をする。

### その他の展示

新聞社や他館との共催展や美術団体展などすぐれた内容の展覧会を誘致し公開する。

## 教育普及事業

### 公募展等

県美術展覧会などの公募展を開催し、県民に作品発表の場を提供する。

### 講演会・講座

実技講座、美術講座、美術講演会などを実施し、県民の創作の場を提供する。

### 展覧会貸出事業

県内各地の展示施設での、山口県立美術館の館蔵品による展覧会を呼びかけることを通じて県民に広く美術鑑賞の機会を提供する。

### ボランティア事業

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設け、ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

### 学校連携事業

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及をはかる。

## 調査研究および収集事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを整理保管し有効な活用をはかる。



# 事業

## I. 展覧会事業



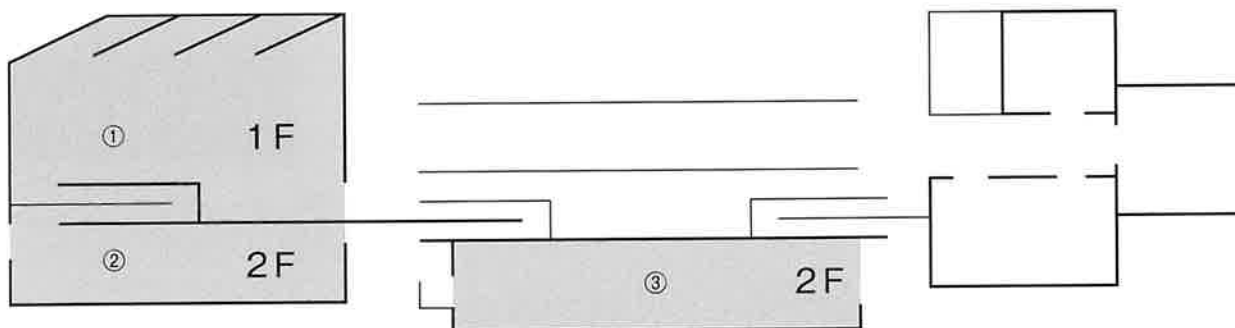
## (1) 特別展

当館では、館主催による大型企画展ではおもに個人作家展やテーマ展など、小型企画展では現代美術をそれぞれ取り上げてきた。会場は原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）の2室を使用してきたが、近年は展覧会規模の大型化にともない、この2室に加え常設展示室Ⅱ（③）をこの延長スペースに使う状況が定着してきている。

いわゆる共催展は、新聞社等の企画による巡回展が主なものであった。原則として年に2～3本程度開催している。展示室は原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）を使用しているが、自主企画展と同様に近年では展覧会規模の大型化により共催展についてもその延長スペースとして常設展示室Ⅱ（③）を併用するケースが多い。

近年では、新聞社等との共同出資による実行委員会方式の共催展が主流になるとともに、共催展そのものに当館の学芸スタッフが参画するケースが増えている。さらに、当館単独で開催される大型企画展も実行委員会方式で運営されるようになる傾向にあるため、企画展、共催展は区別せず特別展として扱っている。

なお、2005年度は、5月23日から2006年3月まで空調設備改修工事のため休館した。



企画展示室Ⅰ	①	583.298㎡
企画展示室Ⅱ	②	304.695㎡
常設展示室Ⅱ	③	471.825㎡

### \* 凡例

以下の展覧会は名称（会期・主催等）・(1)  
趣旨・(2) 会場構成・(3) カタログ・(4)  
出品目録・(5) 講演会等の順で編集した。

# 興福寺国宝展—鎌倉復興期のみほとけ—

2005（平成17）年4月12日（火）～5月22日（日）会期中無休

主催 山口県立美術館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、YAB山口朝日放送

後援 文化庁、奈良文化財研究所、奈良県、奈良県教育委員会、広島ホームテレビ、九州朝日放送

協賛 ニッセイ同和損害保険、凸版印刷、奈良香寿軒

協力 株式会社エーエス、香老舗松栄堂

会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ、  
常設展示室Ⅰ・Ⅱ（全館使用）



チラシ



ポスター

## (1) 趣旨

本展覧会は、2010（平成22）年に創建1300年を迎える奈良の名刹・興福寺が、中金堂再建という大事業推進の意義を広く訴えるため、興福寺の歴史上最大規模の復興事業であった興鎌倉復興をテーマにすえて企画されたものである。2004（平成16）年9月に東京芸術大学大学美術館を皮切りに、当館を含む全国5会場で開催された。

1180（治承4）年、源平合戦幕開けの年。平重衡による南都焼き討ちにより興福寺の伽藍は一夜にして灰燼に帰した。しかし、この激動の時代のなかで始まった復興事業は、運慶などの偉大な仏師による名作の数々を生み出し、日本のルネサンスともいべき大きな運動となったことが知られている。本展は、鎌倉時代の精神が結実した傑作の数々を、興福寺および各地の寺社、博物館が所蔵する112点（山口会場展示分）で紹介した。

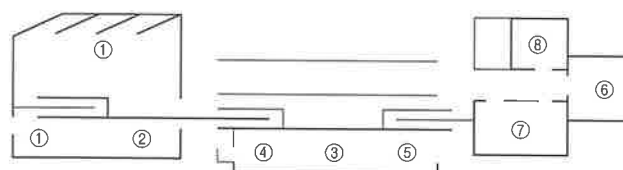
展示作品の中で中心となったのは、運慶作の無著・世親像をはじめとする鎌倉復興期の仏像彫刻であったことは言うまでもないが、本展覧会では、再建された堂宇と制作者との関係を春日社寺曼荼羅などの絵画資料もあわせて紹介することによって、興福寺の鎌倉復興の様相を明確化することを試みた。さらに、鎌倉復興の立役者として、運慶たち慶派仏師だけにとどまらず、南都絵所の絵師、解脱上人貞慶、法相教学の発展や祖師崇拜など多角的に鎌倉復興の様相を紹介した。そして、進行中の中金堂再建に関係するものとして中金堂出土の鎮壇具等の出土品なども紹介した。

本展覧会は、鎌倉時代の最高峰ともいべき至宝を紹介する機会という意義にとどまらず、興福寺復興が単なる仏像や伽藍の再制作を意味するのではなく信仰の復興・原点回帰という精神的側面を含んでいることを紹介するものであった。奇しくもこの展覧会の会期中にJR福知山線脱線事故が起こった。その前後で世界各地で自然災害が発生した時期でもあり、復興という言葉の意味を改めて考えさせられる機会となる展覧会ともなった。

なお、山口会場では、郷土の仏像をあわせて紹介するコーナーを設け、特別展示「秘仏公開 山口県山陽小野田市岩崎寺と正法寺の仏像」として、寄託品の仏像を展示した。

## (2) 会場構成

- ①第1章 興福寺鎌倉復興期の尊像
- ②第2章 春日社寺曼荼羅の世界
- ③第3章 興福寺をめぐる絵画—南都絵所の展開—
- ④第4章 解脱上人貞慶の事蹟
- ⑤第5章 法相教学とその図像
- ⑥第6章 興福寺へのいざない—中金堂再建へ向けて—
- ⑦特別展示「秘仏公開 山口県山陽小野田市 岩崎寺と正法寺の仏像」
- ⑧特別展示「萩の茶陶」



### (3) カタログ

編集 東京藝術大学大学美術館、岡崎市美術博物館、山口県立美術館、大阪市立美術館、仙台市博物館、朝日新聞社  
内容

ごあいさつ 主催者  
ごあいさつ 法相宗大本山興福寺巻首 多川俊映  
鎌倉復興—中世興福寺の出發 安田次郎  
興福寺鎌倉復興期の彫刻 鷲塚泰光  
南都絵仏師の活躍 有賀祥隆  
図版  
I 興福寺鎌倉復興期の尊像  
II 春日社寺曼荼羅の世界  
III 興福寺をめぐる絵画—南都絵所の展開—  
IV 解脱上人貞慶の事蹟  
V 法相教学とその図像  
VI 中金堂再建へ向けて  
興福寺へのいざない  
鎌倉期の法相教学の展開 多川俊映  
鎌倉復興期の興福寺建築と新中金堂 鈴木嘉吉  
中金堂の発掘調査と鎮壇具 川越俊一  
作品解説  
興福寺略年表  
興福寺堂塔興亡年表  
参考文献  
出品目録  
List of Exhibits



カタログ

A4判変形 264ページ

### (4) 出品目録

※ 重文=重要文化財、県文=県指定文化財

No.	作品名	指定	時代	所蔵	展示期間
3	維摩居士坐像	国宝 定慶作	鎌倉時代 1196(建久7)年	奈良・興福寺	前期:4/12~5/2
4	梵天立像	重文 定慶作	鎌倉時代 1202(建仁2)年	奈良・興福寺	後期:5/3~5/22
5	十二神将立像のうち		鎌倉時代 1207(建永2)年頃	奈良・興福寺	記載のないものは、全期間展示
5-1	招杜羅大将・丑	国宝			
5-4	珊底羅大将・午	国宝			
5-5	額彌羅大将・未	国宝			
5-8	宮毘羅大将・亥	国宝			
6-1	釈迦如来像頭部	重文	鎌倉時代 1189(文治5)年頃	奈良・興福寺	
6-2	釈迦如来像左手	重文			
6-3	釈迦如来像右手	重文			
6-4	化仏	重文			
6-5	飛天	重文			
6-6	飛天	重文			
6-7	飛天	重文			
6-8	飛天	重文			
8-1	金剛力士立像 阿形	国宝	鎌倉時代 12-13世紀	奈良・興福寺	
9-2	龍燈鬼立像	国宝 康弁作	鎌倉時代 1215(建保3)年	奈良・興福寺	
10	法相六祖坐像のうち		鎌倉時代 1189(文治5)年	奈良・興福寺	
10-1	伝善珠	国宝 康慶作			
10-3	伝行賀	国宝 康慶作			
11-1	四天王立像 持国天	重文 康慶作	鎌倉時代 1189(文治5)年	奈良・興福寺	
11-2	増長天	重文 康慶作			
11-3	広目天	重文 康慶作			
11-4	多聞天	重文 康慶作			
12-1	無著菩薩立像	国宝 運慶作	鎌倉時代 1212(建暦2)年頃	奈良・興福寺	
12-2	世親菩薩立像	国宝 運慶作			
13	千手観音菩薩立像 像内納入品のうち			奈良・興福寺	
13-1	梵字千手観音小呪鏡	国宝	鎌倉時代 1229(寛喜元)年頃		

13-2	観音菩薩立像	国宝	奈良時代 8世紀		
13-3	千手観音菩薩立像	国宝	平安時代 11-12世紀		
13-4	千手観音菩薩立像	国宝	鎌倉時代 12-13世紀		
13-5	大般若経・千手経	国宝 懋円筆	鎌倉時代 1228(安貞2)年		
13-6	般若心経 卷第1	国宝 堯俊他筆	鎌倉時代 1217-1228(建保5-安貞2)年		
13-7	千手観音摺仏	国宝	鎌倉時代 1228(安貞2)年		
13-8	梵字千手千眼陀羅尼 (紙本墨書)	国宝 有俊筆	鎌倉時代 1229(寛喜元)年		
13-8	梵字千手千眼陀羅尼 (紙本墨刷)	国宝	鎌倉時代 13世紀		
13-9	奉加結縁交名	国宝	鎌倉時代 13世紀		
14-1	梵天立像	重文	鎌倉時代 12-13世紀	奈良・興福寺	
14-2	帝釈天立像	重文			
15	厨子入り弥勒菩薩半跏像			奈良・興福寺	
15-1	弥勒菩薩半跏像	重文	鎌倉時代 13世紀		
15-2	厨子	重文	鎌倉時代 13-14世紀		
18	舞楽面のうち			奈良・春日大社	
18-2	新鳥蘇	重文	鎌倉時代 1185(元暦2)年		前期
18-4	納曾利	重文	平安時代 12世紀		後期
19	玉葉		江戸時代 17-18世紀	京都・陽明文庫	前期-第46冊 後期-第75冊
20	興福寺曼荼羅図	重文	鎌倉時代 12-13世紀	京都国立博物館	前期
22	春日社寺曼荼羅図	県文	鎌倉時代 14世紀	奈良・興福寺	
23	春日社寺曼荼羅図		鎌倉時代 14世紀	奈良国立博物館	後期
29	春日社寺曼荼羅図		南北朝時代 14世紀	細見美術館	前期
32	春日南円堂曼荼羅図	県文	鎌倉時代 14世紀	奈良・長谷寺	後期
34	興福寺講堂曼荼羅図		鎌倉時代 13世紀	奈良国立博物館	前期
38	春日社寺曼荼羅図		鎌倉時代 13-14世紀	大阪市立美術館	
43	五大力菩薩像		南北朝時代 14世紀	奈良・興福寺	
44-1	千手観音菩薩立像 像内納入品 毘沙門天印仏	国宝	鎌倉時代 1220-1228(承久2-安貞2)年	奈良・興福寺	
45	厨子入り吉祥天倚像		南北朝時代 1340(暦応3)年	奈良・興福寺	
45-1	吉祥天倚像	重文 寛慶作			
45-2	厨子 厨子絵	重文 命尊筆			
46	舍利厨子	県文	室町時代 1537(天文6)年	奈良・興福寺	
54	春日権現験記絵		渡辺始興筆 江戸時代 1735(享保20)年	京都・陽明文庫	
55	聖徳太子絵伝	重文 遠江法橋筆	鎌倉時代 1323(元亨3)年	大阪・四天王寺	前期-第3幅 後期-第4幅
56	解脱上人貞慶坐像		江戸時代 17世紀	京都・海住山寺	
60	解脱上人貞慶像		江戸時代 17世紀	京都・海住山寺	
62	笠置寺縁起絵 卷上		室町時代 15世紀	京都・笠置寺	前期
63-1	釈迦如来立像	重文	鎌倉時代 1199(正治元)年	京都・峰定寺	
64-1	四天王立像 持国天	重文	鎌倉時代 13世紀	京都・海住山寺	
64-2	増長天	重文			
64-3	広目天	重文			
64-4	多聞天	重文			
66	信円僧正像		室町時代 16世紀	奈良・興福寺	
68	大般若十六善神像		鎌倉時代 13世紀	京都・海住山寺	前期
71	仏舎利安置状	重文 貞慶筆	鎌倉時代 1208(承元2)年	京都・海住山寺	前期
73	海住山寺起請文	重文	鎌倉時代 1213(建暦3)年	京都・海住山寺	後期
74	明本鈔	重文	鎌倉時代 1212(建暦2)年	奈良・興福寺	前期-卷第10 後期-卷第13
75	釈迦念仏会願文		鎌倉時代 1254(建長6)年	奈良・唐招提寺	
77	解脱上人御草等		鎌倉時代 12-13世紀	花園大学	
80	法相曼荼羅図		鎌倉時代 13世紀	奈良・法隆寺	前期
81	法相曼荼羅図		鎌倉時代 14世紀	奈良・法隆寺	後期
83	護法善神像のうち		鎌倉時代 14世紀	奈良・興福寺	
83-4	阿難尊者	重文			
83-5	法涌菩薩	重文			
83-7	娑伽羅龍王	重文			
83-8	閻魔王	重文			
87	慈恩大師像		鎌倉時代 13世紀	個人	後期
88	慈恩大師像		室町時代 15世紀	奈良・薬師寺	
91	慈恩大師諸伝記 (『高僧伝』 卷第13紙背)		平安時代 12世紀	奈良・興福寺	
92	大慈恩寺三蔵法師伝	重文	平安時代 1071(延久3)年	奈良・興福寺	前期-卷第1 後期-卷第10

93	玄奘三蔵坐像		鎌倉時代 13世紀	奈良・薬師寺	
95	釈迦三尊十六羅漢像		室町時代 15世紀	舎那院	前期
96	溜州大師像	重文	鎌倉時代 13世紀	奈良・興福寺	
98	成唯識論	重文	平安時代 12世紀	奈良・興福寺	前期-巻第1 後期-巻第10
101	春日版板木のうち			奈良・興福寺	
101-1	成唯識論述記 巻第九	重文	鎌倉時代 1195(建久6)年		
101-2	法華経普門品	重文	鎌倉時代 1209(承元3)年		
102	維摩会表白	良円筆	鎌倉時代 1196(建久7)年	奈良・興福寺	
103	筆筭譜	重文	鎌倉時代 13世紀	奈良・興福寺	
104	中金堂鎮壇具			奈良・興福寺	
104-1	銀製鍍金唐草文脚杯 (残欠)	国宝	奈良時代 8世紀?		
104-2	銀製鍍金唐花文鏡	国宝	奈良時代 8世紀		
104-3	銀鏡	国宝	奈良時代 8世紀		
104-4	水晶念珠玉	国宝	奈良時代 8世紀		
104-5	水晶玉	国宝	奈良時代 8世紀		
105	鬼瓦及び軒瓦			奈良・興福寺	
105-1	軒丸瓦		奈良時代 8世紀		
105-2	軒平瓦		奈良時代 8世紀		
105-3	軒丸瓦		鎌倉時代 12世紀		
105-4	軒平瓦		鎌倉時代 12世紀		
105-5	旧西金堂鬼瓦		奈良時代 8世紀		
105-6	北円堂鬼瓦		鎌倉時代 12世紀		
106~108	中金堂鎮壇具 須弥壇上土坑及び基壇上出土品			奈良・興福寺	
106-1	金延金		奈良時代 8世紀		
106-2	砂金		奈良時代 8世紀		
106-3	和同開珎		奈良時代 8世紀		
106-4	ガラス玉類		奈良時代 8世紀		
106-5	琥珀念珠玉		奈良時代 8世紀		
106-6	水晶念珠玉		奈良時代 8世紀		
107	須弥壇南西角出土品 水晶玉		奈良時代 8世紀?		
108-1	須弥壇上礎石据付内出土品 水晶玉		奈良時代 8世紀?		
108-2	須弥壇上礎石据付内出土品 真珠		奈良時代 8世紀?		
109	緑釉水波文埴 中金堂前廃棄土坑出土品		奈良時代 8世紀	奈良・興福寺	
110	土師器小皿		平安時代 11世紀	奈良・興福寺	
111	金箔軒丸瓦		桃山時代 16世紀	奈良・興福寺	
113	中金堂再建模型 (20分の1)		現代 2004(平成16)年	奈良・興福寺	

特別展示「秘仏公開 山口県山陽小野田市 岩崎寺と正法寺の仏像」

No.	作品名	指定	時代	所蔵
1	千手観音菩薩立像	県文	平安時代 10世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
2	釈迦如来坐像	県文	平安時代 12世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
3	阿弥陀如来坐像	県文	平安時代 12世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
4	阿弥陀如来坐像	県文	平安時代 12世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
5	大日如来坐像	県文	平安時代 12世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
6	聖観音菩薩立像	県文	鎌倉時代 12世紀~13世紀	山陽小野田・岩崎寺 (寄託品)
7	十一面観音菩薩立像	県文	鎌倉時代 1193(建久4)年	山陽小野田・正法寺 (寄託品)

特別展示「萩の茶陶」(平成16年度常設展示「萩の茶陶」(2月1日~4月10日)を興福寺国宝展特別展示として継続。)

No.	作品	作者	制作年	材質
1	萩灰被割貫茶碗	兼田昌尚	1988	陶
2	萩粉引割貫花入	兼田昌尚	1995	〃
3	萩茶碗	坂高麗左衛門 (11代)	1975	〃
4	萩刷毛目茶碗	坂倉新兵衛 (12代)		〃
5	萩御本手茶碗	坂倉新兵衛 (14代)		〃
6	萩菊花文食籠	坂倉新兵衛 (15代)	1993	〃
7	萩茶碗	坂田泥華 (13代)	1979	〃
8	萩割高台茶碗	田原陶兵衛 (12代)	1979	〃
9	萩灰被茶碗	田原陶兵衛 (13代)	1996	〃
10	萩茶碗	玉村登陽	1997	〃
11	萩伊羅保茶碗	野坂康起	1931	〃
12	萩角水指	三輪休雪 (11代) (三輪寿雪)	1977	〃
13	茶碗	〃	1987	〃
14	萩編笠水指	三輪休和	1973	〃

15	萩筆洗切茶碗	三輪休和	1975	陶
16	花器	三輪休雪(12代)(三輪龍作)	1982	〃
17	萩炎彩扁壺	大和保男	1992	〃
18	萩茶碗	〃	1988	〃
19	白釉壺(花器)	吉賀大眉	1962	〃
20	斗々屋写し茶碗	〃	1974	〃

## (5) 講演会等

### ■講演会

「興福寺鎌倉復興期のみほとけ」

〔講師〕 藤岡穰（大阪大学助教授）

〔日時〕 4月24日（日）14：00～

〔会場〕 美術館講座室

「南都炎上からの鎌倉復興」

〔講師〕 安田次郎（お茶の水女子大学教授）

〔日時〕 5月8日（日）14：00～

〔会場〕 美術館講座室

### ■学芸員によるギャラリートーク

「毎日トーク」4月12日～28日 11：00～

「サンデートーク」5月1日、15日、22日 11：00～

「運慶の夕べ」4月29日～5月5日 18：00～（夜間開館日に開催）

### ■ボランティアによるギャラリートーク

「こどものためのギャラリートーク」毎週土曜日 10：30～（40分程度）

「興福寺展特別展示ギャラリートーク」毎週土曜日 13：00～

※特別展示「秘仏公開 山口県山陽小野田市 岩崎寺と正法寺の仏像」

### ■ワークショップ

「和装本をつくろう」

講師：山口智子（手作り絵本の会）

入門編 4月23日（土）13：00～16：00 〔対象〕 小学校5年生～中学生

上級編 5月15日（日）10：00～16：00 〔対象〕 高校生以上

「親子で楽しむ興福寺展」4月24日（日）、5月8日（日）10：00～11：00

「呈茶」会期中の月・木 10：00～16：00

〔会場〕 美術館ロビー

〔協力〕 月曜日：表千家同門会山口地区

木曜日：（社）茶道裏千家淡交会山口支部

「華道 一乗院御門流 古式立華」4月12日～18日、5月1日～7日

〔会場〕 美術館ロビー

### ■託児サービス「ちびっこルーム」（定員制・要予約）

日時：会期中毎週木曜日10：00～13：00

会場：美術館講座室

利用者：延べ17人



# ウィーン美術アカデミー名品展 ヨーロッパ絵画の400年

2006（平成18）年4月7日（金）～5月21日（日） 月曜日休館（ただし5月1日開館）

主 催 山口県立美術館、読売新聞西部本社、KRY山口放送、美術館連絡協議会

後 援 オーストリア大使館

協 賛 花王株式会社、大日本印刷

協 力 日本航空



チラシ



ポスター

## (1) 趣旨

ウィーン美術アカデミー絵画館所蔵作品から、17世紀のネーデルラント絵画や16世紀以降のヨーロッパで展開されてきた風景画など84点を展示し、ヨーロッパ絵画400年の精華を紹介した。

84点の内容は、レンブラント、ルーベンス、ファン・ダイクといった巨匠の作品に加え、18世紀以降の風景画、19世紀ウィーン美術アカデミーの教授たちの作品等が含まれており、同アカデミーのコレクションの豪華ダイジェスト版ともいえるものであった。当初、アカデミー側はカタログの章立て（(3) カタログ参照）に準じた展示構成を提案していたが、当館においては、既成の構成のままでは一般の来館者が展覧会を味わい、楽しむことは難しいと判断し、積極的に展示構成の改変を行った。

まず、オーストリアの女帝マリア・テレジアが来館者をヨーロッパ美術の旅へ招待する、というコンセプトを決定し、その上で、小さなテーマを設け、時代、地域、ジャンル毎に展示を構成した。具体的には、マリア・テレジアを案内役として、美術アカデミーの紹介から始まり、テーマ毎にそのコレクションを紹介していくという内容となった。とりわけ、風景表現および風景画計33点を集中させ、風景画の変遷を追った「第六章 ヨーロッパ風景画物語」は、当館の独自色を強く打ち出した章である。

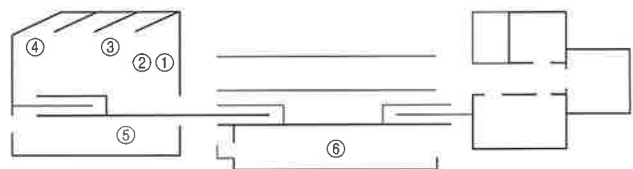
一方、美術やヨーロッパ文化にあまりなじみのない方にも本展を楽しんでいただくために、さまざまな試みを行った。章解説および解説リーフレットを通じた作品解説の充実、ギャラリートーク、子ども向け展覧会ガイド「美術館旅券」を使用したスタンプラリー（※）など、作品に目を向けさせる工夫のほか、夜間特別開館時のロビーコンサート、人気漫画『ベルサイユのばら』の作者・池田理代子氏の講演会、ウィーン王宮御用達菓子「デメル」をカフェで販売するなど、多角的な話題作りを行った。

以上のような、展示に関わる推敲・工夫および広報イベント的な話題作りが功を奏し、本展に足を運んだ来館者は、家族連れからカップル、老夫婦、友人同士まで、きわめて幅広い層にわたった。会期終盤のロビーは老若男女が行き交い、おだやかで明るい雰囲気包まれた。

本展は美術館連絡協議会が企画した巡回展であったが、既成の内容に独自のコンセプトを加えて構成を練り直したことで、鑑賞者の立場に立ち、よりわかりやすい展覧会をめざすという当館の方針を示す好例となったといえよう。※県内の小・中学生向けに作成したパスポート型展覧会ガイド「美術館旅券」を館内でも配布。海外旅行の雰囲気を演出するため、ロビーや会場の出入り口に「日本出国カウンター」、「ウィーン入国カウンター」、「ウィーン出国カウンター」、「日本帰国カウンター」をもつけ、それぞれでスタンプを押せるようにした。

## (2) 会場構成

- ①第1章 ようこそマリア・テレジアのウィーンへ
- ②第2章 芸術の都ウィーン
- ③第3章 バロックの巨匠たち
- ④第4章 花・鳥・宴—ネーデルラント絵画の楽しみ
- ⑤第5章 クラナハー—北方ドイツ・500年前の宮廷趣味
- ⑥第6章 ヨーロッパ風景画物語



### (3) カタログ

監修 千足伸行

編集 読売新聞東京本社文化事業部

内容

ごあいさつ

メッセージ レナーテ・トゥルネック (ウィーン美術アカデミー絵画館館長)

美術大学におけるヨーロッパ絵画名品：ウィーン美術アカデミー絵画館

レナーテ・トゥルネック

肖像・風俗・静物・風景—様々なジャンルについて 千足伸行

図版

- I アルプス以北と以南の初期板絵
- II ウィーン美術アカデミー絵画館のルーベンス、ファン・ダイクと17世紀のフランドル絵画
- III スペインとイタリアのバロック
- IV 黄金時代のオランダ絵画：社会と肖像画
- V 黄金時代のオランダ絵画：オランダとイタリアの風景画
- VI 黄金時代のオランダ絵画：静物画
- VII 18世紀イタリアとフランス：ヴェネツィアと南欧
- VIII 18世紀のオーストリア絵画
- IX アカデミーにおけるビーダーマイヤーにいたるまでの新古典主義
- X リングシュトラーセから現代の覚醒まで

カタログ

作家生没年

出品目録

\* A4版変形 211ページ



カタログ

### (4) 出品目録

作品の記載順序は山口会場での章構成に従っているため、カタログ番号は順不同である。  
所蔵先はすべてウィーン美術アカデミー絵画館。

Cat.No.	作品タイトル	作者名	制作年	素材	寸法 (cm)
<b>第1章 ようこそマリア・テレジアのウィーンへ</b>					
61	女帝マリア・テレジアの肖像	マルティン・ファン・マイテンズ	1759年	油彩・カンヴァス	122×99
62	ロジー・フォン・ロジムタル伯爵アダム・フィリップの肖像	ヨハン・クベツキー	1723年	油彩・カンヴァス	94×76
63	フィリップ・ハッケルトの肖像	アンナ・ドロテア・リジウスカ=テルブッシュ	1768年	油彩・カンヴァス	80×63
65	プラーターからのウィーンの眺め	ヨーゼフ・ハイデロフ	1781年	油彩・カンヴァス	85.5×135
66	ウィーンのロッサウ・レンデ	マルティン・ファン・モーリトル	1784年	油彩・カンヴァス	57×93.5
67	シェーンブルン宮殿の庭の花壇	フランツ・シヤイエラー	1800年頃	油彩・カンヴァス	60.5×86
<b>第2章 芸術の都ウィーン</b>					
64	芸術の運命のアレゴリー	フランツ・アントン・マウルベルチュ	1770年	油彩・カンヴァス	105×72
68	ウィーン美術アカデミーの裸体教室	マルティン・フェルディナント・クヴァダール	1787年	油彩・カンヴァス	144×207
69	画家の息子ハインリヒ・フューガーの肖像	ハインリヒ・フリードリヒ・フューガー		油彩・カンヴァス	113.5×89
70	彫刻家アントニオ・カノーヴァの肖像	ヨハン・バプティスト・ランビ (子)	1806年以降	油彩・カンヴァス	113×93
76	復活祭の朝のファウスト	ヨハン・ペーテル・クラフト	1856年	油彩・カンヴァス	135.5×112
77	アリオスト作『狂乱のオランダ』からルッジェーロとアンジェリカ	ヨハン・ペーテル・クラフト	1842/43年	油彩・板	134×103
78	悪徳に打ち勝つ美徳 (ウィーンの裁判所天井画のための下絵)	ユリウス・ヴィクトル・フォン・ベルガー		油彩・カンヴァス	87×57
79	「ニーベルングの指輪」より (天井画の下絵)	ハンス・マカールト	1870/72年	油彩・カンヴァスに貼られた紙	135×135
84	私のアトリエから	カール・モル	1906年	油彩・カンヴァス	100×100
<b>第3章 バロックの巨匠たち</b>					
8	15歳頃の自画像	アントニス・ファン・ダイク	1614年頃	油彩・板	25.8×19.5
9	三美神	ペーテル・ノバウル・ルーベンス	1620-24年	油彩・板	119×99
10	レオナルドの「アンギアーリの戦い」のパラフレーズ：軍旗をめぐる戦い	ペーテル・ノバウル・ルーベンス	1601-08年	油彩・カンヴァス	82.5×117
11	若い婦人の肖像 (画家の娘エリサベト?)	ヤーコフ・ヨルダーン	1637/38年	油彩・カンヴァス	74.5×55
12	貴婦人の肖像	ガスパーレ・デ・クライエル	1620年代末	油彩・カンヴァス	82.5×65
17	乳を飲ませる牝の虎	ルーベンスの助手とヤン・ウィルデンス	1620年頃	油彩・カンヴァス	81×141
20	サイコロ遊びをする少年たち	バルトロメ・エステバン・ムリーヨ	1670/75年頃	油彩・カンヴァス	148×114
21	豪華な静物：果物と花瓶と孔雀	ニコラ・マリナーニ	1700年頃	油彩・カンヴァス	206×170
22	ウルカヌスに捕えられたマルスとヴェーナス	ルーカ・ジョルダーン	1670/75年頃	油彩・カンヴァス	232×182
23	パリスの審判	フランチェスコ・デ・ローザ (通称パチェッコ)	1640年頃	油彩・銅版	29×40

24	ユピテルとケレス	ドメニコ・マリア・ヴィアーニ	1700年頃	油彩・カンヴァス	61×75
28	若い女性の肖像	レンブラント・ハルメンス・ファン・レイン	1632年	油彩・カンヴァス	92×71
29	牧人の装いの自画像	バレント・ファブリティウス	1654年	油彩・カンヴァス	79×64.2
30	アドニス装いの少年の肖像	ニコラース・マース	1670年頃	油彩・カンヴァス	72.8×63
<b>第4章 花・鳥・宴—ネーデルラント絵画の楽しみ</b>					
13	地球儀とオウムのある静物	ピーテル・ブール	1658年頃	油彩・カンヴァス	129×168
14	果物と猿のいる静物	ヤン・フェイト	1653年	油彩・カンヴァス	110×121
15	葡萄とヨウムと小さな猿のいる静物	ヤン・フェイト		油彩・カンヴァス	56×87
16	狩の獲物の静物	ヤン・フェイト		油彩・カンヴァス	111×165
18	猫の習作	ヤン・フェイト		油彩・カンヴァス	84×109
19	農民の食事	ヒリス・ファン・ティルボルフ		油彩・カンヴァス	130×207
25	サムソンとデリラ	ヘンドリック・ブルーマールト	1635年頃	油彩・カンヴァス	147×200
26	楽奏する人々：調和のアレゴリー	ヤン・ファン・バイレルト	1629年頃	油彩・板	39.5×69
27	放蕩息子	ヤン・リス	1625-29/30年	油彩・カンヴァス	85.5×69.5
31	トレットリアでの踊り	ヤン・ミール	1650年頃	油彩・カンヴァス	50.7×66.5
44	豪華な静物	ヤン・ダーフィッツ・デ・ヘーム	17世紀中頃	油彩・カンヴァス	115×170
45	“オートペイティエ”：蜂の朝食	ウイレム・ファン・アールスト	1671年	油彩・カンヴァス	49×40.8
46	トロンプ・ルイユの静物	サミュエル・ファン・ホーホストラーテン	1655年	油彩・カンヴァス	92.3×72.2
47	花瓶のある静物	ラヘル・ライス	1700年頃	油彩・カンヴァス	68×53.5
48	花瓶のある静物	ヤン・ファン・ハイスム		油彩・カンヴァス	62.8×53.2
49	花瓶のある静物	ヤコベア・マリア・ファン・ニッケレン		油彩・板	49×37
50	番の孔雀	メルヒオール・ドンデクーテル	17世紀	油彩・カンヴァス	155.5×188
51	争う鶏のいる庭	メルヒオール・ドンデクーテル	17世紀	油彩・カンヴァス	117×139.5
<b>第5章 クラナハ—北方ドイツ・500年前の宮廷趣味</b>					
2	不釣り合いなカップル	ルーカス・クラナハ（父）	1531年	テンペラ・板	51×36
3	ルクレティア	ルーカス・クラナハ（父）	1532年	油彩・板	37.5×24.5
4	ヘラクレスとアンタイオスの闘い	ルーカス・クラナハ（父）	1530年頃	テンペラ・板	39×26.5
5	聖ドロテア	ルーカス・クラナハ（父）の工房	1530年頃	テンペラ・板	77×59
<b>第6章 ヨーロッパ風景画物語</b>					
1	聖家族	ヨース・ファン・クレーフェ	1515年頃	テンペラ・板	53×39.5
6	野外で楽しむ人々と水浴の女たち	ボニファツィオ・デ・ピターティ (通称ボニファツィオ・ヴェロネーゼ)	1540/50年頃	油彩・カンヴァス	59×114
7	野外で楽しむ人々と踊る男女	ボニファツィオ・デ・ピターティ (通称ボニファツィオ・ヴェロネーゼ)	1540/50年頃	油彩・カンヴァス	59×114
32	ローマのボポロ広場で繰り上げられる民衆の風景	ヨハネス・リンゲルノッパ	1664年	油彩・カンヴァス	87×118
33	板塀のある風景	イサーク・ファン・ロイスダール	1648-50年	油彩・板	56×79.5
34	池のある風景	ヤーコブ・ファン・ロイスダール	1651年頃	油彩・カンヴァス	49×67
35	牧人のいる砂丘風景	ニコラース・ベルヘム	1653年	油彩・カンヴァス	66.5×82.5
36	川と小橋のある森の風景	ヤーコブ・ファン・ロイスダール	1670年代	油彩・カンヴァス	67×83
37	海景：帆船と背景にラメクス砦	ヤン・ファン・ホイエン	1655年頃	油彩・板	25.5×41.5
38	停泊する艦隊：ラメクス城を背景にした内陸河川艦隊の隊列	シモン・デ・フリーヘル	1649/50年頃	油彩・板	46.8×71.5
39	停泊する商船	レイニエ・ノームス（通称ゼーマン）	1658年	油彩・カンヴァス	47.8×56.8
40	牧人と家畜のいる森の道	クロード・ジュレ（通称ロラン）	1633年頃	油彩・カンヴァス	31×51.5
41	狩人のいる廃墟の風景	ヤン・アセレイン	1645年頃	油彩・カンヴァス	47×60.5
42	休息する騎手のいる海岸風景	ヤン・アセレイン	1650/52年頃	油彩・カンヴァス	71.1×96
43	狩人と釣人のいるイタリアの風景	カレル・デュ・ジャルダン	1675年頃	油彩・カンヴァス	53.5×69.5
52	奇想の建築	フランソワ・ド・ノメ (通称モンスー・デジデーリオ)	1620年頃	油彩・カンヴァス	96×80
53	月光の下の地中海の港	アレッサンドロ・フレフェンブルーク	1720年頃	油彩・カンヴァス	54×72
54	リオ・ディ・カナレージョ運河にかかる橋	ミケーレ・マリエスキ	1742年頃	油彩・カンヴァス	46×71
55	サン・マルコ広場と時計塔	フランチェスコ・グアルディ	1770年頃	油彩・カンヴァス	62.5×89.5
56	サン・マルコ図書館のある小広場	フランチェスコ・グアルディ	1770年頃	油彩・カンヴァス	62.5×89.5
57	ヴェネツィアの大運河、サンタ・ルチア教会とスカルツィ聖堂	フランチェスコ・グアルディ	1785-91年頃	油彩・カンヴァス	63×89
58	多島海の島々	クロード・ジョセフ・ヴェルネ	1751年	油彩・カンヴァス	132×163
59	難破船	ジャック・フィリップ・ド・ルーテルブール	1767年	油彩・カンヴァス	58×81
60	奇想の廃墟（古い神殿）	ユーベル・ロベール	1786年頃	油彩・カンヴァス	41×31
71	月夜に照らされたナポリ湾の眺め	ミハエル・ヴッキー		油彩・カンヴァス	95×147
72	ナポリ湾から望むヴェスヴィオ山の噴火	ミハエル・ヴッキー		油彩・カンヴァス	94×147
73	噴火するヴェスヴィオ山頂	ミハエル・ヴッキー		油彩・カンヴァス	95×146
74	理想的風景：夕方	ヨハン・ネボムク・シェードベルガー	1817年	油彩・カンヴァス	131×172
75	リオデジャネイロ風景	トマス・エンデル	1837年	油彩・カンヴァス	126.5×189
80	森の娘の誕生	エミール・ヤーコブ・シンドラー	1868年	油彩・カンヴァス	95×119
81	アイゼネルツより	ローベルト・ルス	1870年	油彩・カンヴァス	53×29.5
82	オルナンの近くの岩場の風景	ギュスターヴ・クールベ	1855-60年	油彩・カンヴァス	65×81
83	ベンツィンガー・アウ（ベンツィンクの湿地）の早春	ローベルト・ルス	1887年	油彩・カンヴァス	136×186

## (5) 講演会等

### ■講演会

「マリー・アントワネットとマリア・テレジア」 講師：池田理代子  
日時：4月16日（日） 14：00～  
会場：山口県立山口図書館レクチャールーム  
参加者数：約300名

「音楽と美術の都ウィーン—その歴史と文化」 講師：山之内克子（神戸市外国語大学助教授）  
日時：4月30日（日） 14：00～  
会場：美術館講座室  
参加者数：約80名

### ■キッズイベント

「親子で楽しむウィーン展」 学芸員によるギャラリー・ツアーを行った。  
日時：4月9日（日）・23日（日） 各日10：00～  
対象：小学生以下  
参加者数：延べ親子20組

「ヨーロッパのおはなし」 ヨーロッパの絵本の読みきかせ会を行った。  
協力：こどもと本ジョイントネット21・山口  
日時：4月8日・15日・22日・29日 各土曜日 10：00～  
会場：美術館ロビー

子どものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」  
美術館ボランティアが子どものためのギャラリー・トークを行った。  
日時：会期中の毎週土曜日 11：00～

### ■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：4月9日・16日・23日・30日・5月14日 各日曜日 11：00～

### ■ゴールデンウィーク夜間特別開館

5月1日（月）～7日（日）の間、20：00まで開館を延長。

特別鑑賞会「ウィーン夜話」18：00～（夜間特別開館期間中）  
学芸員によるギャラリー・トークを行った。

「モーツァルトコンサート」 美術館ロビーで生演奏コンサートを行った。  
日時：5月1日（月）・3日（水）・5日（金） 18：00～19：00  
会場：美術館ロビー  
演奏：ムジカ山口

### ■託児サービス「ちびっこルーム」（定員制・要予約）臨時託児所を用意した。

日時：会期中の毎週木曜日 10：00～13：00  
会場：美術館講座室  
利用者数：延べ30人

## 第二十一回国民文化祭・やまぐち二〇〇六

### 特別企画展—没後五〇〇年記念 雪舟への旅

2006（平成18）年11月1日（水）～11月30日（木）

主催 山口県立美術館・NHK山口放送局・読売新聞西部本社・山口放送株式会社・山口市・防府市

特別協賛 セキスイハイム中国株式会社山口支社・  
あさひ製菓株式会社・株式会社西京銀行

協賛 宇部興産株式会社・富士商株式会社

特別協力 セントラル硝子株式会社

会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ  
常設展示室Ⅰ・Ⅱ



予告チラシ



予告ポスター



ポスター大



チラシ



ポスター小1



ポスター小2

#### (1) 趣旨

開館当初から「郷土色豊かな美術館」となることを目指して活動してきた当館では、画家としての人生の大半を山口で行った雪舟と、後にその画系を継いだ雲谷派に関する調査研究、収集、展示等に力を注いできた。とくに雪舟については10年前から、第一線で活躍する雪舟研究者をメンバーとする「雪舟研究会」を組織して、調査や講演会やシンポジウム開催などの活動を行ってきた。この展覧会は、この研究会の活動を含む、当館開館以来の雪舟に関する取り組みの成果として開催された。

出品作品数は61点とかならずしも多くないが、国宝に指定されている雪舟作6点すべてを含み、また数点の例外を除けば、現在雪舟真筆と認められている作品の大部分をカバーした。新出作を多く紹介することはなく、新たな観点から雪舟を捉え直すといった行き方もあえてとらなかった。そうした意味においてはオーソドックスな展覧会である。雪舟のすぐれた作品を、ひとつひとつ丁寧にご覧いただきたいという願いが根本にあった。

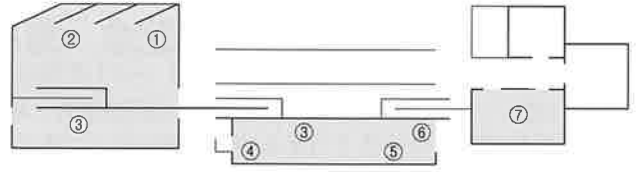
図録は、分かりやすさ・読みやすさに重点を置いた一般向けのものと、雪舟に関するデータ・ブックとして構想した研究者向けのものの2種を制作した。後者の研究者向け図録と、展覧会の事前に制作した当館所蔵の雪舟筆「牧牛図」を中心とする学校向けのガイドブックはそれぞれ『雪舟等楊—「雪舟への旅」展研究図録』（中央公論美術出版）、『みる・しる・しらべる 雪舟筆牧牛図』（オクターブ）として、一般に販売された。

デザインや会場構成の面では、ポスター・チラシ等のデザインを日本を代表するデザイナーの一人である原研哉氏に依頼する、あるいは最新のLED技術を用いた照明を部分的に使用するなどの果敢な試みを行った。

多数の来館が予想され、混雑による作品観賞環境の悪化を避けるために、会期中は展示替のための1日を除き無休で開館し、また通常17:00までである開館時間を19:00までに延長した。入館者数は105207人。

## (2) 会場構成

- ①山口にいた雪舟
- ②これが雪舟だ
- ③雪舟、変身
- ④西へ東へ
- ⑤天開図画楼
- ⑥雪舟、逝く
- ⑦雪舟を継ぐ者たち



## (3) カタログ

### 「雪舟への旅」展図録

編集 山口県立美術館  
アートディレクション 原研哉  
デザイン 色部義昭  
制作・印刷 大村印刷株式会社  
発行 「雪舟への旅」展実行委員会  
内容

ごあいさつ

「雪舟への旅」へ 島尾新

作品図版

第一章 山口にいた雪舟

第二章 これが雪舟だ

コラム なにを、どう描くか

コラム 実景を描く

第三章 雪舟、変身

コラム 雪舟と拙宗

コラム 雪舟、中国へ行く

コラム 中国画家にならう

第四章 西へ東へ

コラム 雪舟、美濃へ行く

コラム 記念すべき年

第五章 天開図画楼

コラム 雪舟が住んでいたところ

コラム 人物を描く

第六章 雪舟、逝く

コラム 雪舟はいつ、どこで没したか

第七章 雪舟を継ぐ者たち

コラム 雪舟を継ぐ

雪舟と山口 荏開津通彦

年譜

地図 東アジア 山口

ブックガイド

山口県立美術館における雪舟研究の記録

出品目録

List of Works

A4版変形 185ページ



カタログ

### 雪舟等楊一「雪舟への旅」展 研究図録

編集 山口県立美術館 雪舟研究会  
製作 中央公論美術出版  
印刷 凸版印刷株式会社  
発行 「雪舟への旅」展実行委員会  
内容

序

雪舟研究の現状—研究図録の刊行にあたって 島尾新

雪舟画年代再考 荏開津通彦

図版

全図

賛

参考図版

落款印章

付属資料

作品解説

(荏開津通彦、影山純夫、救仁郷秀明、島尾新、杉野愛、高橋範子、畑靖紀、福島恒徳、平間理香、守安収、綿田稔)

論文

雪舟の出自 守安収

拙宗と雪舟—いわゆる「同人説」をめぐる人物たち 福島恒徳

雪舟の帰国後の動向—九州を中心に— 渡邊雄二

倣高克恭山水図巻 再考 高橋範子

文明十八年の大内氏と雪舟 畑靖紀

秋冬山水図 考 影山純夫

雪舟自序を読む 綿田稔

資料

雪舟年譜

史料

参考文献目録

図版目録

協力者一覧

A4版 308ページ



研究図録

## (4) 出品目録

※重美=重要美術品

重文=重要文化財

附=附属品

1は56の附属品

10と24は6の附属品

No.	作品名	筆者	賛者	員数	材質	法量	所蔵者	指定
<b>第一章 山口にいた雪舟</b>								
1	七十一歳自画像	「雪舟」落款	青蘧	一幅	絹本着色	59.1×28.2	藤田美術館	註(附)
2	雪舟像	「雪舟」落款		一幅	紙本着色	38.6×32.2	大和文華館	
3	雪舟像	雲谷等與	天祐紹景	一幅	絹本墨画淡彩	83.1×30.8	個人	
4	雪舟像	雲谷等益	玉舟宗瑤	一幅	絹本墨画淡彩	104.9×34.2	常栄寺	重美
<b>第二章 これが雪舟だ</b>								
5	四季花鳥図屏風	雪舟等楊		六曲一双	紙本着色	各164.2×354.8	京都国立博物館	重文
6	四季山水図巻	雪舟等楊		一卷	紙本墨画淡彩	40.8×1602.3	毛利博物館	国宝
7	慧可断臂図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	184.0×113.0	齊年寺	国宝
8	天橋立図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	90.2×169.5	京都国立博物館	国宝
9	天橋立図模本	不詳・原本雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	87.5×168.5	千秋文庫	
10	四季山水図巻	雲谷等益		一卷	紙本墨画淡彩	39.2×1626.8	毛利博物館	註(附)
<b>第三章 雪舟、変身</b>								
11	山水図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	57.6×34.7	根津美術館	
12	山水図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画	最大径31.3	根津美術館	
13	琴高仙人・牧童・高士観梅図	雪舟等楊		三幅	紙本墨画淡彩	各最大径33.0	個人	
14	松下高士図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	最大径32.8	個人	
15	出山釈迦図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画	83.9×33.3	個人	
16	山水図	雪舟等楊	龍崗真圭	一幅	紙本墨画淡彩	101.2×33.5	京都国立博物館	重文
17	芦葉遶磨図模本	林教膺・原本雪舟等楊	原本竺心慶仙	一幅	紙本墨画	104.0×39.4	東京国立博物館	
18	山水図	雪舟等楊	以参周省、伯充寿棟、春湖清鑑	一幅	紙本墨画	99.5×33.7	正木美術館	重文
19	湖亭春望図	雪舟等楊	天與清啓	一幅	紙本墨画淡彩	84.0×36.4	吉川史料館	
20	三教図模本	狩野常信・原本雪舟等楊		一幅	絹本墨画淡彩	100.2×38.7	東京国立博物館	
21	送雪舟詩並序	魯庵		一幅	紙本墨書	35.3×82.0	永青文庫	
22	四季山水図	雪舟等楊		二幅 (四幅のうち)	絹本墨画淡彩	各149.2×75.7	東京国立博物館	重文
23	寿老図	「日本禅人等揚」落款		一幅	紙本墨画	99.5×29.7	個人	
24	送雲谷詩並序	徐璉		一幅	紙本墨書	103.0×36.4	毛利博物館	註(附)
25	四季山水図巻跋文巻	烏鼠道人、雲谷等顔、筠溪玄徹		一卷	紙本墨書	40.1×189.9	毛利博物館	
26	唐土勝景図巻	雪舟等楊		一卷	紙本墨画	28.2×735.5	京都国立博物館	
27	国々人物図巻	雪舟等楊		一卷	紙本墨画	27.9×601.3	京都国立博物館	
28	唐土勝景図巻模本	岡琴嶽・原本雪舟等楊		一卷	紙本墨画	28.6×763.6	京都国立博物館	
29	国々人物図巻模本	岡琴嶽・原本雪舟等楊		一卷	紙本墨画	28.4×621.3	京都国立博物館	
30	傲玉澗山水図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画	30.3×30.8	岡山県立美術館	重文
31	傲李唐牧牛図(牧童)	雪舟等楊		一幅	紙本墨画	30.1×31.1	山口県立美術館	重文
32	傲李唐牧牛図(波河)	雪舟等楊		一幅	紙本墨画	29.9×30.5	山口県立美術館	重文
33	流書手鑑	狩野常信・原本雪舟等楊		一卷	紙本墨画淡彩	32.0×392.5	東京国立博物館	
<b>第四章 西へ東へ</b>								
34	傲高克恭山水図巻	雪舟等楊		一卷	紙本墨画	23.6×402.5	山口県立美術館	重文
35	益田兼堯像	雪舟等楊	竹心周鼎	一幅	紙本着色	83.0×40.8	益田市立雪舟の郷記念館	重文
36	山寺図模本	狩野常信・原本雪舟等楊	原本希世靈彦、蘭坡景菴、横川景三、天隠龍澤	一幅	紙本墨画	121.6×39.5	東京国立博物館	重文
37	韋馱天図	無款	万里集九	一幅	紙本墨画淡彩	108.8×15.8	正木美術館	
38	観音図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	102.9×45.3	個人	
39	観音図模本	狩野常信・原本雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	114.0×48.5	東京国立博物館	
40	観音図模本	山本勝月・原本雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	116.7×50.2	東京藝術大学大学美術館	
<b>第五章 天開図画楼</b>								
41	山水図	雪舟等楊	汝南恵徹	一幅	紙本墨画	22.7×35.4	菊屋家住宅保存会	
42	秋冬山水図	雪舟等楊		二幅	紙本墨画	各47.7×30.2	東京国立博物館	国宝
43	山水図	雪舟等楊	天隠龍澤	一幅	紙本墨画	25.9×35.7	個人	
44	四季山水図	雪舟等楊		四幅	絹本墨画淡彩	各70.6×44.2	石橋財団石橋美術館	重文
45	四季山水図模本	横山大観・原本雪舟等楊		四幅	紙本墨画淡彩	各71.2×44.2	東京国立博物館	
46	四季山水図	無款		三幅	絹本墨画淡彩	各74.0×44.3	九州国立博物館	
47	観音図	無款		一幅	紙本着色	径13.7	個人	
48	束帯天神図	雪舟等楊		一幅	紙本墨画淡彩	102.0×47.4	山口県立美術館	
49	山水図	雪舟等楊	自序、月翁周鏡、蘭坡景菴、天隠龍澤、正宗龍統、了庵桂悟、景徐周麟	一幅	紙本墨画	148.8×32.7	東京国立博物館	国宝

50	全岩東純像	雪舟等楊	為宗忠心	一幅	絹本着色	82.5×36.8	瑠璃光寺	
51	宗淵宛書状・山水図	雪舟等楊		一幅	紙本墨書 (書状)・紙本墨 画(山水図)	14.2×45.4(書 状)、11.5×27.2 (山水図)	梅澤記念館	
52	渡唐天神図	雪舟等楊		一幅	絹本墨画淡彩	112.7×57.1	岡山県立美術館	
<b>第六章 雪舟、逝く</b>								
53	山水図	雪舟等楊	以参周省、了庵桂悟	一幅	紙本墨画淡彩	89.2×45.2	個人	国宝
54	神農図	雪舟等楊	了庵桂悟	一幅	紙本墨画	119.0×35.9	岡山県立美術館	
55	山水図	雪舟等楊	了庵桂悟	一幅	紙本墨画淡彩	98.3×39.6	個人	
56	題雪舟山水図詩	了庵桂悟		一幅	紙本墨書	62.4×21.9	藤田美術館	重文
<b>第七章 雪舟を継ぐ者たち</b>								
57	山水図屏風	雲谷等顔		六曲一双	紙本墨画淡彩	各147.0×346.4	個人	
58	山水図屏風	雲谷等益		六曲一双	紙本墨画淡彩	各155.5×354.0	山口県立美術館	
59	山水図	雲谷等顔	澤庵宗彭	一幅	紙本墨画	119.0×52.0	個人	
60	山水図	雲谷等益		二幅	紙本墨画	各103.5×47.9	個人	
61	山水図	雲谷等爾		一幅	紙本墨画	110.0×48.8	山口県立美術館	

## (5) 講演会等

### ■連続講座「雪舟を知る・山口を知る」

#### 1. 「対談 雪舟の魅力に迫る」

講師：千宗屋（茶道武者小路千家家元後嗣・美術史家）・山下裕二（明治学院大学教授）

日時：11月3日（金・祝） 15：30～17：00

会場：山口県立山口図書館レクチャールーム

参加人数：125名

#### 2. 「雪舟と山口 室町時代編」

講師：古賀信幸（山口市文化振興課）・島尾新（多摩美術大学教授）

日時：11月11日（土） 14：00～16：00

参加人数：37名

#### 3. 「雪舟が見た京文化」

講師：高橋範子（正木美術館主席学芸員）

日時：11月18日（土） 14：00～16：00

会場：山口県立美術館講座室

参加人数：90名

#### 4. 「雪舟と山口 江戸時代編」

講師：綿田稔（東京文化財研究所研究員）

日時：11月25日（土） 14：00～16：00

会場：山口県立美術館講座室

参加人数：80名

### ■シンポジウム「雪舟をどう見るか 現代美術、美学、美術史の視点から」

司会：菊屋吉生（山口大学教授）

パネリスト：李禹煥（多摩美術大学教授）、大橋良介（大阪大学教授）、島尾新（多摩美術大学教授）

日時：11月23日（木） 14：00～16：00

会場：山口県立山口図書館レクチャールーム

参加人数：200名

### ■ギャラリートーク

#### 1. 学芸員によるギャラリートーク

11月5日（日）・6日（月）・12日（日）・13日（月）・19日（日）・20日（月）・26日（日）・27日（月）

#### 2. ボランティアによる こどものためのギャラリートーク「雪舟さん こんにちは」

11月4日（土）・11日（土）・18日（土）・25日（土） 11：00～



■子供のためのワークショップ

1. 「水墨画を味わう 山水長巻の世界を旅しよう」

日時：11月4日（土） 9：30～11：30

会場：山口県立美術館講座室

参加人数：4名

2. 「水墨画にチャレンジ 筆づかいを極めよう」

日時：11月4日（土） 12：30～14：00

会場：山口県立美術館講座室

参加人数：15名

■大人のためのワークショップ

1. 「雪舟への小さな旅」

日時：11月12日（日） 10：00～17：00

講師：鈴木淳（美術家）

参加人数：14名

2. 「国宝にどっぷりつかって詩心をほぐす秋の一日」

日時：11月18日（土） 14：00～16：00 + 19日（日） 10：00～15：00

講師：中村淳子（詩人）、高橋範子（正木美術館主席学芸員）

会場：山口県立美術館講座室

参加人数：9名

■託児サービス「ちびっこルーム」（定員制・要予約）

日時：会期中の毎週木曜日 10：00～13：00

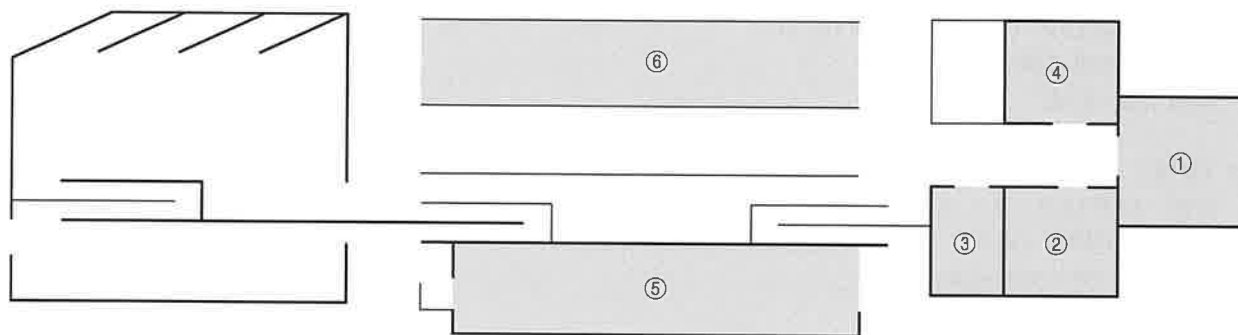
会場：美術館講座室

利用者数：延べ21名

## (2) 常設展

館藏品（借用品を含む場合もある）の常時公開の場として常設展示室を設け、年4回程度の展示替えてテーマを設定した館藏品の紹介を行っている。常設展示エリアは5室からなっており、その4室（①～④）が1階フロアに、残る1室（⑤）が2階フロアに設置されている。このうち2室（②・③）は壁を取り払って1室としての使用が可能である。1階フロアの4室を総称して常設展示室Ⅰ、2階フロアを常設展示室Ⅱと呼んでいる。

常設展示室Ⅰの4室は、展示内容を特定しており、絵画展示室Ⅰ（①）に香月泰男の「シベリア・シリーズ」、絵画展示室Ⅱ（②）が小林和作の作品、資料展示室（③）に素描・画稿等の第2次資料、郷土工芸室（④）には萩焼や赤間硯などの山口県伝統工芸をそれぞれ展示してきた。しかし、近年ではコレクションの充実と多様化にともない、この原則に必ずしもこだわらない展示が試みられている、常設展示室Ⅱ（⑤）は、館藏品から選ばれた作品紹介の場として使用してきた。ほかに戸外に野外展示場（⑥）を設け、館内展示が不可能な立体造形の紹介、展観の場として現代彫刻等の作品数点を設置しているが、このスペースは鑑賞の合間の休憩の場としても利用されている。



常設展示室Ⅰ	（①～④）	462.309㎡
常設展示室Ⅱ	（⑤）	471.825㎡
野外展示場	（⑥）	1370.000㎡

### \* 凡例

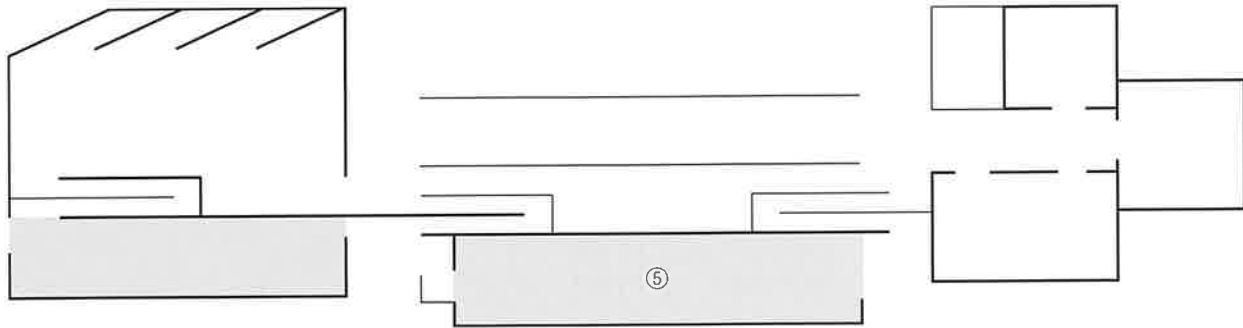
以下の常設展示記録は各展示室に即して整理し、名称・会期・出品作品リストの順で編集した。

平成17年度は4/12-5/22の会期で、興福寺国宝展特別展示「秘仏公開 一山陽小野田市 岩崎寺・正法寺の仏像」(①)、「萩の茶陶」(④)を展示し、展示室②③は興福寺国宝展に使用した。

5/23-2006/3/31は空調設備改修工事のため休館した。

平成18年度は企画展示室Ⅰ・Ⅱも使用した常設特別展示を行ったのでこれもまとめて掲載した。

## 企画展示室Ⅱ・常設展示室Ⅱ (⑤)



### 1 「雪舟への旅」展プレイベント 常設展特別企画 雲谷派Ⅰ 2006（平成18）年6月27日～7月23日

番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	平原宗家略譜	—	明治時代初期19世紀		冊子	一冊 寄託品
2	雲谷派印	—	江戸時代17～19世紀		印鑑	23個 寄託品
3	瀟湘八景図巻	雲谷等顔	桃山～江戸時代	紙本墨画	卷子装	一卷
4	山水図	雪舟落款	室町時代16世紀	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双
5	蛸子和尚	雲谷等顔	16世紀後期～17世紀初期	紙本墨画	掛幅装	一幅
6	榎瓊煨芋図	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画	掛幅装	一幅
7	山水図	雲谷等顔(澤庵宗彭賛)	16世紀～17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
8	楼閣山水図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩金砂子	六曲屏風	一双
9	芦鶴図	雲谷等益	寛永十八年(1641)?	紙本着色漆箔	六曲屏風	一双 寄託品
10	林和靖・雪景山水図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双
11	山水人物等押絵貼屏風	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一隻 寄託品
12	茄子図	雲谷等益	1639～1644頃	紙本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
13	渡唐天神図	斎藤等順	江戸時代17世紀	紙本着色	掛幅装	一幅
14	柳蔭野馬図	雲澤等悦	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
15	架鷹図	三谷等宿	16～17世紀	紙本着色	掛幅装	一幅
16	白鷹図	雲谷等與	1667～1668頃	絹本着色	掛幅装	一幅 寄託品
17	布袋図	雲谷等與	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
18	鶉図	雲谷等與	江戸時代1639～1667	絹本着色	掛幅装	一幅
19	達磨図	雲谷等與	江戸時代17世紀中期頃	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅
20	陶淵明愛菊図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅
21	寒山拾得図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	絹本着色	掛幅装	二幅対
22	破墨山水図	雲谷等哲	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
23	琴棋書画図	雲谷等璠	江戸時代17～18世紀	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双
24	琴棋書画図	雲谷等的	江戸時代17世紀	紙本着色	六曲屏風	一双 寄託品
25	布袋図	雲谷等作	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
26	山水図	雲谷等鶴	江戸時代18世紀初	絹本墨画淡彩	掛幅装	二幅対 寄託品
27	雲谷派縮図	雲谷派	江戸時代18～19世紀	紙本墨画	未表装、裏打ち	
28	雲谷派粉本模写図巻	内田耕月齋	江戸時代19世紀	紙本墨画	卷子装	一卷 寄託品

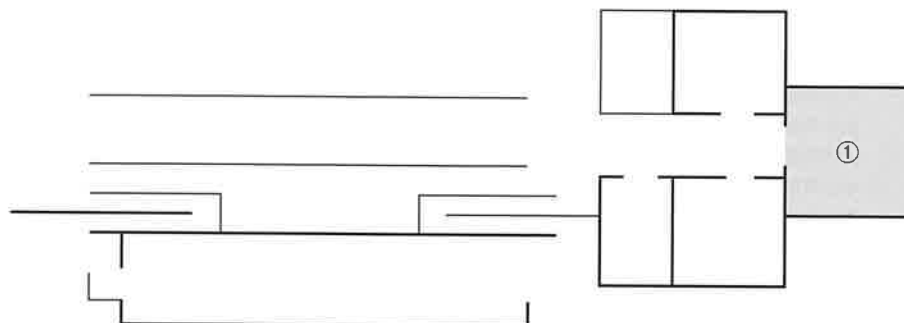
### 2 「雪舟への旅」展プレイベント 常設展特別企画 雲谷派Ⅱ 2006（平成18）年7月25日～8月20日

番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	平原宗家略譜	—	明治時代初期		冊子	一冊 寄託品
2	雲谷派印	—	江戸時代17～19世紀		印鑑	23個 寄託品
3	瀟湘八景図巻	雲谷等顔	桃山～江戸時代	紙本墨画	卷子装	一卷
4	群馬図	雲谷等顔	桃山時代	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双
5	山水図	雲谷等顔	桃山時代16世紀末	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一隻 寄託品
6	枯木にかわせみ図	雲谷等顔	桃山～江戸時代	紙本墨画	掛幅装	一幅
7	林和靖図	雲谷等顔	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅 寄託品
8	故事人物図	雲谷等顔	16世紀後半	紙本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
9	鯉図	雲谷等益	江戸時代17世紀前半	紙本墨画淡彩	四曲屏風	一隻
10	山水図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双 寄託品
11	樹下高士山水図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	掛幅装	三幅対
12	琴棋書画図	雲谷等益	江戸初期17世紀	紙本着色	六曲屏風	一双
13	達磨図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
14	神農図	雲谷等益	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅
15	花鳥図	斎藤等室	江戸時代	紙本着色	六曲屏風	一双

16	架鷹図	三谷等宿	江戸時代	紙本着色	掛幅装	一幅	寄託品
17	楼閣山水図	雲谷等與	江戸時代	紙本墨画	六曲屏風	一隻	
18	叭々鳥図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	紙本着色	掛幅装	一幅	寄託品
19	山水図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
20	維摩・布袋・杜甫図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	掛幅装	三幅対	寄託品
21	花鳥図	雲谷等哲	17世紀中期頃	絹本着色	掛幅装	二幅対	
22	天神図	雲谷等璠	江戸時代17～18世紀	紙本墨画彩色	掛幅装	一幅	寄託品
23	芙蓉図	雲谷等璠	江戸時代17～18世紀	紙本着色	掛幅装	一幅	寄託品
24	月梅図	雲谷等的	江戸時代17世紀	紙本墨画	掛幅装	一幅	
25	花鳥図	雲谷等鶴	18世紀前期	紙本金地着色	六曲屏風	一双	
26	雲谷派粉本縮図	雲谷派	江戸時代18～19世紀	紙本墨画	未表装、裏打ち		
27	雲谷派粉本模写図巻	内田耕月齋	江戸時代19世紀	紙本墨画	卷子装	一卷	寄託品

## 常設展示室 I

### 絵画展示室 I (①)



### 1 中本達也の世界 2006 (平成18) 年4月1日～6月11日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	洪水	中本達也	1956	油彩、カンヴァス	
2	渴	中本達也	1958	油彩、カンヴァス	
3	巽	中本達也	1960	油彩、カンヴァス	
4	海の扉	中本達也	1961	油彩、カンヴァス	
5	魚人	中本達也	1958	油彩、カンヴァス	
6	森の声	中本達也	1960	油彩、カンヴァス	
7	人間の扉	中本達也	1967	油彩、カンヴァス	
8	残された壁 (人間断片 A)	中本達也	1967	油彩、カンヴァス、紙	
9	残された壁 (女)	中本達也	1967	油彩、カンヴァス、紙	
10	残された壁 (祭壇)	中本達也	1967	油彩、カンヴァス、紙	
11	人間の邑	中本達也	1968	石版、紙	

### 2 小林和作の世界 2006 (平成18) 年6月13日～8月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	上高地 (其三)	小林和作	1926	油彩、カンヴァス	
2	カブリ島	小林和作	1928	油彩、カンヴァス	
3	エクス風景	小林和作	1929	油彩、カンヴァス	
4	潮流	小林和作	c.1935	油彩・カンヴァス	寄託品
5	春	小林和作		油彩、カンヴァス	
6	室戸岬	小林和作		油彩、カンヴァス	
7	佐渡の海	小林和作		油彩、カンヴァス	
8	春の海	小林和作	1974	油彩、カンヴァス	
9	海	小林和作	1964	油彩、カンヴァス	
10	山湖の秋	小林和作	c.1965	油彩、カンヴァス	
11	山湖	小林和作	1955	油彩、カンヴァス	
12	秋晴	小林和作	1957	油彩、カンヴァス	
13	雲仙嶽	小林和作		油彩、カンヴァス	
14	婦人像	小林和作	1966	油彩、カンヴァス	

### 3 松田正平の世界 2006（平成18）年8月22日～10月1日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	上白根風景	松田正平	1943	油彩、カンヴァス	
2	顔を覆う女	松田正平	1953	油彩、カンヴァス	
3	銭湯	松田正平	1955	油彩、カンヴァス	
4	月夜	松田正平	1956	油彩、カンヴァス	
5	高萩風景	松田正平	1957～1959	油彩、カンヴァス	
6	砧風景	松田正平	1958	油彩、カンヴァス	
7	燈台	松田正平	1959	油彩・カンヴァス	JAコレクション（寄託品）
8	燈台（宇部港湾）	松田正平	1960	油彩・カンヴァス	JAコレクション（寄託品）
9	周防灘	松田正平	1972	油彩・カンヴァス	寄託品
10	大威徳明王	松田正平	1975	油彩、カンヴァス	
11	大威徳明王	松田正平	1976	油彩・カンヴァス	寄託品
12	四国犬	松田正平	1979	油彩・カンヴァス	寄託品
13	周防灘	松田正平	1980	油彩、カンヴァス	
14	周防灘	松田正平		油彩、カンヴァス	寄託品
15	オヒョウ（大きな魚）	松田正平	1984	油彩、カンヴァス	

2006（平成18）年10月2日～12月11日 「雪舟への旅」に使用。

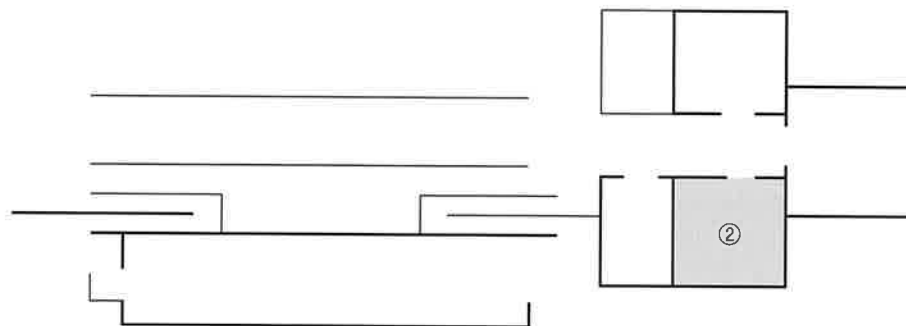
### 4 桂ゆきの世界 2006（平成18）年12月12日～2007（平成19）年2月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	帰り道	桂ゆき	1934頃	油彩、カンヴァス	寄託品
2	作品	桂ゆき	1940頃	油彩、カンヴァス	
3	作品	桂ゆき	1949	油彩、カンヴァス	
4	猫になった女	桂ゆき	1950	油彩、カンヴァス	
5	怒髪天をつく	桂ゆき	1953	油彩、カンヴァス	
6	しっほの出た狐	桂ゆき	1954	油彩、カンヴァス	
7	虎の威を借りた狐	桂ゆき	1955	油彩、カンヴァス	
8	ラストスパート	桂ゆき	1964	油彩・カンヴァス	寄託品
9	欲張り婆さん	桂ゆき	1966	油彩、紙、板	
10	笑う人	桂ゆき	1968	油彩、カンヴァス	
11	作品	桂ゆき	1968	油彩、紙、板	
12	アダムとイヴ	桂ゆき	1968	油彩、紙、板	
13	つぶされた	桂ゆき	1973	油彩、板	
14	赤と白の対話	桂ゆき	1970	油彩、板	
15	誕生	桂ゆき	1985	木、布、紙	

### 5 宮崎進の世界 2007（平成19）年2月27日～4月8日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	旅芸人	宮崎進		油彩、カンヴァス	
2	小屋	宮崎進	1968	油彩、カンヴァス	
3	夜	宮崎進	1968	油彩、カンヴァス	
4	黄色い壁	宮崎進	1976	油彩、カンヴァス	
5	ランドスケープ	宮崎進	1976	油彩、カンヴァス	
6	昼	宮崎進	1976	油彩、カンヴァス	
7	凍る土	宮崎進	1985～86	油彩、板	
8	少年と瀬戸	宮崎進		油絵、カンヴァス	
9	長門路の春	宮崎進		油絵、カンヴァス	
10	ふたつの裸	宮崎進		鉛筆、紙	
11	裸	宮崎進		鉛筆、紙	
12	ふたつのコンポジション	宮崎進		鉛筆、紙	
13	男と女のコンポジション	宮崎進		鉛筆、紙	

## 絵画展示室Ⅱ (②)



### 1 常設特別展示「JAコレクションの軌跡」 2006（平成18）年4月1日～6月11日

#### 趣 旨

JAコレクションは、戦後の農協運動のリーダーとして、山口県農協中央会長などを歴任した瀧口純氏（1900～1976）の主導のもと、JAグループ山口が1960年代から70年代にかけて蒐集した美術コレクションである。コレクションには、香月泰男や松田正平など山口県出身作家たちの代表作が含まれ、JAグループが生活文化向上の一環として取り組んだメセナ（企業等による文化支援事業）の先駆ともいえるべき意義深いコレクションである。

JAグループでは、2006年からコレクションの保存と活用をはかるため、主だった作品80点を山口県立美術館、下関市立美術館、周南市美術博物館の三館に分割して寄託することにした。

本展は、この三館での寄託を記念してコレクションをまとめて展示するもので、下関市立美術館（4月18日～6月4日）、周南市美術博物館（9月8日～10月5日）でも、それぞれの館に寄託されたJAコレクションがまとめて展示された。

番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	雲上富士	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）
2	ニューヨーク	香月泰男		墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
3	ハドソン	香月泰男	1966	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
4	ハト	香月泰男	1966	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
5	白亜の家	香月泰男	1972	リトグラフ、紙		JAコレクション（寄託品）
6	神殿	香月泰男	1972	リトグラフ、紙		JAコレクション（寄託品）
7	太陽と自転車	香月泰男	1955	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
8	洗濯	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
9	菖蒲	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
10	さくらんぼ	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
11	花	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
12	胡蝶花	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
13	野いばら	香月泰男	1955	水彩、鉛筆、紙		JAコレクション（寄託品）
14	牛	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
15	蕪	香月泰男	1962～67頃	墨、クレヨン、紙		JAコレクション（寄託品）
16	桃	香月泰男	1955	水彩、鉛筆、紙		JAコレクション（寄託品）
17	えび	香月泰男	1955	水彩、鉛筆、紙		JAコレクション（寄託品）
18	猫と壺	朝倉摂		紙本着色	額装	一面 JAコレクション（寄託品）
19	或る日	山本文彦		油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）
20	たこ	藤田隆治		絹本着色	掛幅装	一幅 JAコレクション（寄託品）
21	軍鶏	藤田隆治		絹本着色	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
22	白鷹山水図	巖島虹石	明治時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅 JAコレクション（寄託品）
23	夏暁	雲道人		紙本墨画淡彩	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
24	唐辛子の図	雲道人		紙本墨画淡彩	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
25	舟	雲道人		紙本墨画淡彩	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
26	今夜月明	雲道人		紙本墨画	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
27	赤不二	雲道人		紙本着色	掛幅装	JAコレクション（寄託品）
28	白い花	松田正平		油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）
29	燈台（宇部港湾）	松田正平	1960	油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）
30	燈台	松田正平	1959	油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）
31	かみきり虫	松田正平	1959	油彩・カンヴァス		JAコレクション（寄託品）

## 2 香月泰男の版画 2006（平成18）年6月13日～8月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	虎	香月泰男	1970	石版、紙	
2	猿<アメリカ>	香月泰男	1970	石版、紙	
3	エミュ	香月泰男	1970	石版、紙	
4	動物園にて	香月泰男	1970	石版、紙	
5	らくだ	香月泰男	1970	石版、紙	
6	母子像2	香月泰男	1971	石版、紙	
7	母子像3	香月泰男	1971	石版、紙	
8	母子像8	香月泰男	1971	石版、紙	
9	層雲峡	香月泰男	1971	石版、紙	
10	摩周湖	香月泰男	1971	石版、紙	
11	美幌峠から屈斜路湖	香月泰男	1971	石版、紙	
12	オホーツクの日の出	香月泰男	1971	石版、紙	
13	阿寒の山肌	香月泰男	1971	石版、紙	
14	バリの屋根2	香月泰男	1971	石版、紙	
15	バリの屋根3	香月泰男	1971	石版、紙	
16	バリの屋根7	香月泰男	1971	石版、紙	
17	クレタ村	香月泰男	1972	石版、紙	
18	竜舌蘭	香月泰男	1972	石版、紙	
19	連絡船	香月泰男	1972	石版、紙	
20	ひなげし	香月泰男	1972	石版、紙	
21	エドラの風車	香月泰男	1972	石版、紙	
22	宿の窓から	香月泰男	1973	木版、紙	
23	休むカヌー	香月泰男	1973	木版、紙	
24	フラダンス	香月泰男	1973	木版、紙	
25	教会	香月泰男	1973	木版、紙	
26	オリーブ	香月泰男	1974	木版、紙	
27	海辺にて	香月泰男	1974	木版、紙	
28	ルノアールの庭	香月泰男	1974	木版、紙	
29	ニース	香月泰男	1974	木版、紙	

## 3 藤田隆治の世界 2006（平成18）年8月22日～10月1日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	群鶴図	藤田隆治	1952	紙本彩色	六曲屏風一雙
2	軍鶏図	藤田隆治		紙本着色	二曲屏風一隻
3	海底のアラバスク	藤田隆治	1950年代前半	紙本着色	額装
4	海老と魚	藤田隆治	1963	紙本着色	額装
5	魚のいる風景	藤田隆治		カンヴァス、着色	額装
6	有明海	藤田隆治		紙本着色	額装
7	動的な群像	藤田隆治	1964	カンヴァス、着色	額装
8	三眠	藤田隆治	1963	紙本着色	額装
9	原始太陽	藤田隆治	1960	紙本着色	額装

2006（平成18）年10月2日～12月11日 「雪舟への旅」に使用。

## 4 山口県ゆかりの洋画家 2006（平成18）年12月12日～2007（平成19）年2月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	風景（牛と少女）	河北道介		油彩、カンヴァス	
2	少年像1	永地秀太		油彩、カンヴァス	
3	風景	永地秀太		油彩、カンヴァス	
4	アネモネ	桑重儀一		油彩、板	
5	外国風景	桑重儀一		油彩、カンヴァス	
6	無題（牧場風景）	桑重儀一	1940	油彩、カンヴァス	
7	果物	小林和作	1931	油彩、カンヴァス	
8	佐多岬	小林和作	—	油彩、板	寄託品
9	磐梯山の秋	小林和作	—	油彩、カンヴァス	寄託品
10	厨衣の女	三好正直	1931	油彩、カンヴァス	
11	芝居小屋	香月泰男		油彩、カンヴァス	寄託品
12	裸婦	香月泰男		油彩、カンヴァス	寄託品
13	花	香月泰男	1932	油彩、カンヴァス	寄託品

14	施療	香月泰男	1947	油彩、カンヴァス		寄託品
15	幼鷺	香月泰男	1948	油彩、カンヴァス		
16	牛	香月泰男	1948	油彩、カンヴァス		寄託品
17	雲上不二	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス		JA コレクション (寄託品)
18	牛	香月泰男		油彩、カンヴァス		
19	薄雪	尾崎正章	1977	油彩、カンヴァス		
20	風景	松田正平	1929	油彩、カンヴァス		
21	洋梨	松田正平	1970	油彩・カンヴァス		寄託品
22	裸婦	松田正平	1980	油彩・カンヴァス		寄託品
23	人	中本達也	1967	油彩、カンヴァス		
24	長門路の春	宮崎進		油彩・カンヴァス		
25	円の光景 一白の軌跡	田中稔之	1979	油彩、カンヴァス		
26	円の光景 一白の軌跡	田中稔之	1979	油彩、カンヴァス		
27	野 (秋吉の精)	山本文彦		油彩・カンヴァス		
28	無題	桑重機一		油絵、カンヴァス		寄託品

## 5 山口お宝展関連企画「伝 雪舟」 2007 (平成19) 年1月19日～2月18日「山口県ゆかりの洋画家」を一部展示替えて展示

番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	澹墨山水図	雪舟落款	室町時代	紙本墨画	掛幅装	一幅
2	澹墨山水図	雪舟落款	室町時代	紙本墨画	掛幅装	一幅
3	春景山水図	雪舟落款	室町～江戸時代	紙本着色	掛幅装	一幅
4	雪舟落款福祿寿図模写	山岡山泉	昭和初期	紙本墨画	掛幅装	一幅
5	雪舟落款巖上観音図模写	山岡山泉	昭和初期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅
6	備陽雪舟落款山水図模写	山岡山泉	昭和初期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅
7	備陽雪舟落款秋景山水図模写	山岡山泉	昭和初期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅

## 6 永地秀太の世界 2007 (平成19) 年2月27日～4月8日

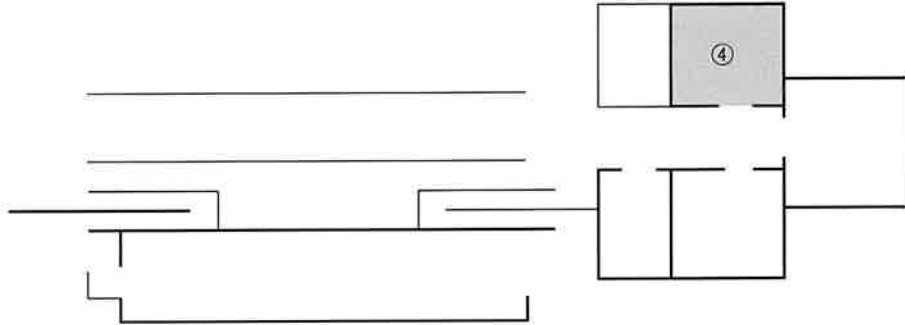
番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	更紗の前	永地秀太	1924	油彩、カンヴァス		
2	壁に倚れる女	永地秀太	1925	油彩、カンヴァス		
3	静物	永地秀太	1909	油彩、カンヴァス		
4	ギリシアの浮彫	永地秀太	1937	油彩、カンヴァス		
5	静物	永地秀太	1924	油絵、カンヴァス		
6	静物	永地秀太	1926	油彩、カンヴァス		
7	静物	永地秀太	1930	油彩、カンヴァス		
8	少女像	永地秀太		油彩、カンヴァス		
9	少年像1	永地秀太		油彩、カンヴァス		
10	少年像2	永地秀太		油彩・カンヴァス		
11	風景	永地秀太		油彩、カンヴァス		
12	人物習作	永地秀太		油彩、板		
13	風景	永地秀太	1922	油彩、カンヴァス		
14	老女像	永地秀太		油彩、紙	マクリ	
15	某氏像	永地秀太		油彩、紙	マクリ	
16	風景	永地秀太		油彩、カンヴァス	マクリ	
17	水彩画・幾可図案等	永地秀太		水彩、鉛筆等、紙		

## 7 中村正也の写真 2007 (平成19) 年2月27日～4月8日 (「永地秀太の世界」と並行して展示)

番号	作品	作者	制作年	材質		備考
1	若い裸『若い裸』より	中村正也	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
2	『若い裸』	中村正也	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
3	裸態『若い裸』より	中村正也	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
5	裸像『若い裸』より	中村正也	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
6	裸形『若い裸』より	中村正也	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
7	若い裸『若い裸』より	中村正也	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
8	若い裸『若い裸』より	中村正也	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
9	若い裸『若い裸』より	中村正也	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
10	裸景『若い裸』より	中村正也	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
11	裸婦群像『若い裸』より	中村正也	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
12	塑『若い裸』より	中村正也	1963	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
13	アトリエ『若い裸』より	中村正也	1963	ゼラチン・シルヴァー・プリント		
14	裸貌『若い裸』より	中村正也	1964	ゼラチン・シルヴァー・プリント		



## 郷土工芸室 (4)



### 1 山口の工芸 - 金工と赤間硯 2006 (平成18) 年4月1日～6月11日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	切嵌象嵌接合せ長皿 「翹雅」	山本晃	1993	金、銀、銅及びその合金	
2	接合二段箱「草叢」	山本晃	1997	金、銀、銅及びその合金	
3	接合箱「紡」	山本晃	1997	金、銀、銅及びその合金	
4	切嵌象嵌接合せ鉢「巖」	山本晃		金、銀、銅及びその合金	
5	接合せ短冊箱「紡」	山本晃		金、銀、銅及びその合金	
6	接合せ箱「麦秋」	山本晃	1999	金、銀、銅及びその合金	
7	銀四分一赤銅接合せ箱 「青響」	山本晃	2000	金、銀、銅及びその合金	
8	赤間硯「累柿研」	堀尾卓司	1950	石	
9	赤間硯「雄蕊おしべ」	堀尾卓司	1957	石	
10	赤間硯「豊麗」	堀尾卓司	1959	石	
11	赤間硯「双体」	堀尾卓司		石	
12	赤間硯「すみすり」	堀尾卓司	1979	石	
13	赤間硯「ビルディング」	堀尾卓司	1970	石	
14	赤間硯「蘭花研」	堀尾卓司	1956	石	
15	長方研	堀尾信夫	1998	石	
16	瓜硯	堀尾信夫	1985	石	

### 2 現代の陶芸 I 2006 (平成18) 年6月13日～8月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	萩食籠	坂倉新兵衛 (14代)	1974	陶	
2	萩水指	坂倉新兵衛 (12代)	1978	陶	
3	萩平水指	坂倉新兵衛 (14代)	1974	陶	
4	萩水指	坂高麗左衛門 (11代)	1975	陶	
5	萩灰被水指	田原陶兵衛 (12代)	1978	陶	
6	萩トジメ水指	坂倉新兵衛 (14代)	1974	陶	
7	萩焼メ燿変水指	坂田泥珠 (14代泥華)	1978	陶	
8	萩練上水指	大和保男	1990	陶	
9	萩炎箔文陶筥	大和保男	1979	陶	
10	萩灰被盆	新庄貞嗣	1996	陶	
11	萩灰被陶筥	新庄貞嗣	1988	陶	
12	萩灰被水指	三輪榮造	1998	陶	
13	萩白釉窯変刺貫水指	兼田昌尚	1991	陶	
14	金線文陶筥	加藤重美	1986	陶	
15	萩菊花文食籠	坂倉新兵衛 (15代)	1993	陶	
16	彩箱	加藤重美	1998	陶	

### 3 現代の陶芸 II 2006 (平成18) 年8月22日～10月1日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	萩壺	三輪休和	1955	陶	
2	麦文壺	吉賀大眉	1946	陶	
3	花器「暁雲」	吉賀大眉	1973	陶	
4	白萩鉄土線文壺	兼田昌尚	1985	陶	

5	萩白釉窯変壺	岡田裕	1988	陶
6	黒陶窯変壺	後迫奉文	1981	陶
7	堆瓷点文壺	加藤重美	1981	陶
8	萩剥離窯変花器	坂田慶造 (15代泥華)	1990	陶
9	萩炎彩扁壺	大和保男	1992	陶
10	萩粉引箔彩六面花器	大和努	1993	陶
11	萩壺	三輪榮造	1998	陶
12	萩窯変壺	波多野善蔵	1977	陶

2006 (平成18) 年10月2日～12月11日 「雪舟への旅」 に使用。

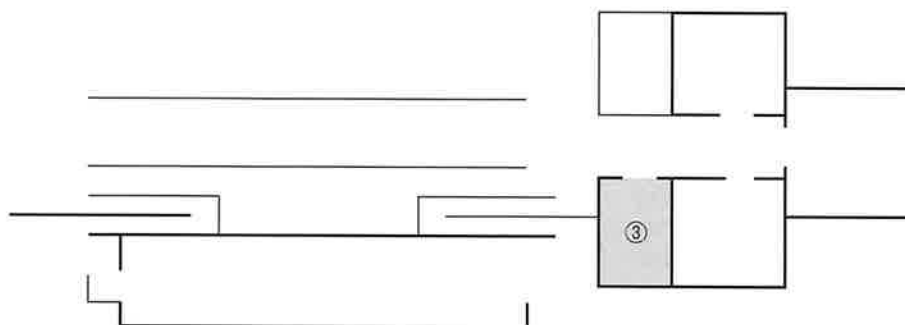
#### 4 植木茂の小品 2006 (平成18) 年12月12日～2007 (平成19) 年2月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	トルソ	植木茂		木 (ケヤキ)	
2	トルソ	植木茂		木 (タモ)	
3	トルソ	植木茂		木 (タモ)	
4	トルソ	植木茂	1947	木 (タモ)	
5	トルソ	植木茂		木	
6	ボツカ	植木茂	1943	木 (チーク)	
7	トルソ	植木茂	1947	木 (タモ)	
8	トルソ	植木茂	1947	木 (ケヤキ)	
9	トルソ	植木茂	1947	木 (ケヤキ)	
10	仏頭	植木茂	1947	木	
11	トルソ	植木茂		木	
12	トルソ	植木茂	c.1963	木 (シオジ)	
13	兔小屋の住人	植木茂	1979以前	木 (ケヤキ)	
14	トルソ	植木茂	1981	木 (ケヤキ)	
15	作品	植木茂		鉄	
16	作品	植木茂	1970	鉄	
17	作品	植木茂	1968	ブロンズ	

#### 5 現代の陶芸Ⅲ 2007 (平成19) 年2月27日～4月8日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	ラブ Love	三輪休雪 (12代, 龍作)	1969	陶	
2	花I	三輪休雪 (12代, 龍作)	1977	陶	
3	予感	三輪休雪 (12代, 龍作)	1977	陶	
4	モナリザ	佐藤敏	1976	土 (黒陶)	
5	カップを破壊する石	西村陽平	1982	カップ、石	
6	燃えない木	西村陽平	1984	木、土 (黒陶)	
7	アイス・バケツ	P. ヴォーコス	1982	陶	
8	世紀末の風景1～3	中村康平	1985	陶	

#### 資料展示室 (③)



常設特別展示「JA コレクションの軌跡」2006 (平成18) 年4月1日～6月11日に使用。

## 1 常盤とよ子の写真 2006（平成18）年6月13日～8月13日

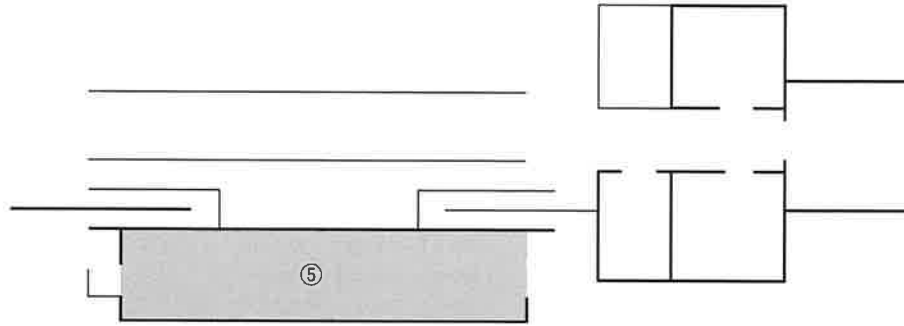
番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
2	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
3	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
4	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
5	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
6	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
7	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
8	赤線地帯 横浜 真金町付近	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
9	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
10	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
11	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
12	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
13	赤線地帯 横浜 真金町遊廓	常盤とよ子	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
14	真金町診療所	常盤とよ子	1959—60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
15	真金町診療所	常盤とよ子	1959—60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
16	真金町診療所	常盤とよ子	1959—60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
17	真金町診療所	常盤とよ子	1959—60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
18	真金町診療所	常盤とよ子	1959—60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
19	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	c.1968	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
20	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	c.1968	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
21	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	c.1968	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
22	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	c.1968	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
23	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	c.1968	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
24	ミナトのマリイ 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
25	ミナトのマリイ 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
26	ミナトのマリイ 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	

## 2 佐藤明の写真 2006（平成18）年8月15日～10月1日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	冷たいサンセット	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
2	冷たいサンセット	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
3	冷たいサンセット	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
4	冷たいサンセット	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
5	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
6	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
7	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
8	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
9	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
10	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
11	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
12	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
13	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
14	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
15	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
16	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
17	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
18	おんな	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
19	燃えろ	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
20	燃えろ	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント	

2006（平成18）年10月2日～12月11日 「雪舟への旅」に使用。以後、資料展示室は、絵画展示室2（小林和作）と併用

## 常設展示室Ⅱ (⑤)



### 1 戦後日本画の変革 2006 (平成18) 年5月30日～6月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	七つの軌跡	下村良之介	1965	ミクストメディア	
2	闘鶏	下村良之介	1980	ミクストメディア	寄託品
3	月明を翔く(矛)	下村良之介	1988	ミクストメディア	寄託品
4	変異の空間	三上誠	1962	ミクストメディア	
5	黒い西日	星野真吾	1966	顔料、紙	寄託品
6	籠城	不動茂弥	1966	ミクストメディア	
7	詩劇	不動茂弥	1966	ミクストメディア	
8	澆澆	野村 耕	1959	ミクストメディア	
9	a (アルファ)	野村 耕	1963	ミクストメディア	
10	SHOW	野村 耕	1964	ミクストメディア	
11	作品	野村 耕	1955—65	ミクストメディア	
12	WORK	楠田伸吾	1963	ミクストメディア	
13	芭蕉の雨	中野弘彦	1977	顔料、紙	
14	水芭蕉曼陀羅・黄14	佐藤多持	1968	墨、顔料、紙	四曲屏風 一隻
15	見物人	水谷勇夫	1960	顔料、紙	
16	戦争そしてセックス-獣姦	水谷勇夫	1964	顔料、紙	

「雪舟への旅」展プレイベント 常設特別企画 雲谷派Ⅰ 2006 (平成18) 年6月27日～7月23日に使用

「雪舟への旅」展プレイベント 常設展示特別企画 雲谷派Ⅱ 2006 (平成18) 年7月25日～8月20日に使用

### 2 常設特別展示 日本水彩画会の二人—河上左京と河上大二—

2006 (平成18) 年12月27日～2007 (平成19) 年2月25日

#### 趣 旨

本県の水彩画の歴史は、河上左京 (1889～1971) と河上大二 (1893～1949) という従兄弟同士のふたりの画家によってはじまったといえる。

左京は大正2年に創設された日本水彩画会の創立会員で、マルクス経済学者、河上肇の実弟にあたる。岩国から上京して日本水彩画会研究所に入り、丸山晩霞、石井柏亭などについて水彩画を学んだのち日本水彩画会、二科会などで活躍した。

一方、大二は東京美術学校の藤島武二教室に学び、油彩画家として出発。その後、1927 (昭和2) 年に日本水彩画会に参加して水彩画に転じ、帝展、文展などで活躍した。

本展では、山口県の初期水彩画史を代表する作家の水彩画作品を個人や博物館から借用して、水彩画の魅力を紹介した。

番号	作品	作者	制作年	備考
1	自画像	河上左京	1917(大正6年)頃	個人蔵
2	自画像	河上左京	1919(大正8年)	個人蔵
3	静物	河上左京	1917(大正6年)	個人蔵
4	静物 (万両)	河上左京	1919(大正8年)	個人蔵
5	静物 (ウイスキー瓶)	河上左京	1919(大正8年)	個人蔵
6	静物 (海芋)	河上左京	1919(大正8年)	岩国徴古館
7	静物 (水筒)	河上左京	1919(大正8年)	個人蔵
8	静物 (芍薬)	河上左京	1920(大正9年)	個人蔵
9	スケッチ (生徒)	河上左京	1920(大正9年)	個人蔵

10	静物 (白い器)	河上左京	1920(大正9年)頃	個人蔵
11	静物 (海芋)	河上左京	1921(大正10年)	個人蔵
12	静物	河上左京	1921(大正10年)	個人蔵
13	静物	河上左京	1922(大正11年)	岩国徴古館
14	風景 (楠の木)	河上左京	制作年不詳	個人蔵
15	向山	河上左京	1921(大正10年)頃	個人蔵
16	静物 (レモンとリンゴ)	河上左京	1923(大正12年)頃	岩国徴古館
17	静物 (白い瓶)	河上左京	1920～30(大正9～昭和5年)頃	岩国徴古館
18	静物 (リンゴとブドウ)	河上左京	1923(大正12年)頃	岩国徴古館
19	静物 (屏風)	河上左京	制作年不詳	個人蔵
20	静物 (青い壺)	河上左京	1925～30(大正14～昭和5)頃	個人蔵
21	静物 (リンゴとブドウ)	河上左京	1925(大正14年)頃	個人蔵
22	静物 (置物)	河上左京	1928(昭和3年)頃	個人蔵
23	静物 (さかな)	河上左京	1929(昭和4年)	個人蔵
24	静物 (スイートピー)	河上左京	1935(昭和10年)頃	個人蔵
25	スケッチ (楠の木)	河上左京	1940(昭和15～25)年代	個人蔵
26	スケッチ (通津海岸)	河上左京	1940(昭和15～25)年代	個人蔵
27	静物 (クワイ)	河上左京	制作年不詳	個人蔵
28	静物	河上左京	制作年不詳	館蔵品
29	[自画像]	河上大二	1930年(昭和5年)	個人蔵
30	[自画像]	河上大二	1932(昭和7年)	個人蔵
31	[農耕]	河上大二	1927(昭和2年)	個人蔵
32	[農耕]	河上大二	1928(昭和3年)	個人蔵
33	[台所]	河上大二	1929(昭和4年)	個人蔵
34	[室内]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
35	[ミシン]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
36	[着替え]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
37	[勉強会]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
38	[海水浴]	河上大二	1933(昭和8年)	個人蔵
39	[学生群像]	河上大二	1930(昭和5年)	個人蔵
40	[夜桜]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
41	[盆踊り]	河上大二	1931(昭和6年)	個人蔵
42	[裁縫]	河上大二	制作年不詳(1931?)	個人蔵
43	[読書]	河上大二	制作年不詳	個人蔵
44	[映写会]	河上大二	1932(昭和7年)	個人蔵
45	[室内]	河上大二	1933(昭和8年)	個人蔵
46	[自宅の畠]	河上大二	1933(昭和8年)	個人蔵
47	[農耕]	河上大二	1934(昭和9年)	個人蔵
48	[台所]	河上大二	1938(昭和13年)頃	個人蔵
49	[静物 (民具)]	河上大二	1942(昭和17年)	個人蔵
50	[静物] (ラムネ瓶)	河上大二	1942(昭和17年)	個人蔵

## 5 松林桂月の世界 2007 (平成19) 年2月27日～4月8日

番号	作品	作者	制作年	材質	装束	備考
1	仙峡聴泉図	松林桂月	1929	紙本墨画	掛幅装	一幅
2	愛吾廬	松林桂月	1936	絹本着色	掛幅装	一幅
3	秋水群雁図	松林桂月	1910	絹本着色	掛幅装	一幅
4	長門峡図	松林桂月	1915	絹本墨画淡彩	額装	一点
5	燕語春風図	松林桂月	昭和初期	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅
6	魚介類写生図巻	松林桂月		紙本着色	卷子装	一卷
7	桃花双鷄図	松林桂月	1895	絹本着色	掛幅装	一幅 寄託品
8	怒涛健鷗図	松林桂月	1897	絹本着色	掛幅装	一幅 寄託品
9	雨後図	松林桂月	1955	絹本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
10	竹林幽趣図	松林桂月	1956	紙本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
11	夏景山水図	松林桂月	1910	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅 寄託品
12	夜桜図	松林桂月	—	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅 寄託品
13	朱竹図	松林桂月	—	紙本朱墨	掛幅装	一幅 寄託品
14	雲石図	松林桂月	—	紙本墨画	掛幅装	一幅 寄託品
15	書	松林桂月	—	紙本墨書	掛幅装	一幅 寄託品



# 事業

## II. 教育普及事業





# (1) 山口県美術展覧会

## 下関市新市・中核市誕生記念 第9回やまぐち県民文化祭 第59回山口県美術展覧会

会期 2005年（平成17年）9月22日（木）～10月12日（水）

会場 下関市立美術館

運営委員（50音順（ ）内は所属と専門分野）

- 荒瀬景敏 (美術作家)
- 今井徹也 (建築家)
- 金津洋雄 (山口県教育委員会文化財保護課長)
- 小南英昭 (山口県立大学生活科学部助教授)
- 濱本 聡 (下関市立美術館館長補佐)
- 原田文明 (美術作家)
- 堀家敬嗣 (山口大学教育学部助教授)
- 三輪和彦 (美術作家)
- 森川紘一郎 (周南市美術博物館長)
- 横山眞佐子 (児童書専門店「(株) こどもの広場」代表取締役)
- 吉野道久 (山口県環境生活部文化振興課長)



ポスター



パンフレット

### (I) 公募部門

#### 1) 審査員（50音順）

- 榎本 徹 (岐阜県現代陶芸美術館長)
- 岡部あおみ (武蔵野美術大学教授)
- 元永定正 (美術作家 成安造形大学客員教授)

#### 2) 実績

応募総点数 432点  
展示点数 130点

#### 3) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞点数合計	展示率 (%)
432 (352)	93 (66)	37 (32)	130 (98)	30.0 (27.8)

( ) の中は前年度数

#### 4) 受賞者

##### <大賞>

支える 花田博通 下関市

##### <優秀賞>

めーる 小泉桂子 大阪府  
 毎日のオブジェ 末田浩一 光市  
 コラージュ 折り 鳥本雅代 下関市  
 曲線 村岡典子 岩国市  
 TRAVEL 05-1 山下哲郎 周防大島町

##### <佳作>

交代意識 double personality 新野尾孝吉 下関市  
 無題 家人和子 山陽小野田市  
 Ionian (honky-tonk) 池田晋輔 山口市  
 想 (刻) 一瀬章雄 下関市  
 isolation (bird's-eye) n 岩佐ゆく 宇部市

ピエロ	上田幸吉	長門市
海の聲	岡田邦彦	周南市
笙	尾田稔子	徳島県
オノコノウタ	河村ゆみ子	萩市
Bird line	北山綾子	福岡県
Shadow II	巖愛珠	大阪府
faintness contact	白木靖子	下松市
リズム	杉山功	小郡町
WORK 2005	炭村昭美	岩国市
キヨ自我像 I	高林キヨ	岩国市
在る	竹内久美子	宇部市
DAY DREAM 一秋吉台	立石弘	防府市
日常的な風景	田中ミノル・光高校定時制グループ	光市
平和会館（展覧会の絵）	TOスタジオ（田中ミノル 逢坂日出夫）	光市
玄宮05—22	友田多恵子	大阪府
証 8章	永田恭章	長門市
ユキへ つながる、ユキから ひろがる	中谷碧都梨	下関市
J伯爵夫人のためのGLASS NAIL（ガラスの爪）	斜森博行+川野武視+角本文治	下関市
美華花	美藤信市	山口市
動物たちの風景 II	堀茂美	下関市
タンゴ ハボネス	三井喜美子	山口市
『幸せ人生計画』 Part I	ミヨシイチロウ	岩国市
日常の沈黙	村中寛	岩国市
海風	守山幸伸	宇部市
TRAVEL 05—2	山下哲郎	周防大島町
Information	山田真理絵	福岡県

#### 〈特別展示〉

「人間」風景 ～上関から下関～

針間文彦

防府市

#### （Ⅱ）ワークショップ部門

「アートはタイヘン！？ どんこアートで遊ぼう！」

日時 平成17年9月24日（土） 13：00～16：00

平成17年9月25日（日） 13：00～16：00

会場 下関市立美術館

講師 原田文明（美術作家・第59回山口県美術展覧会運営委員）

対象・定員 両日とも子供（5歳から小学生）25名とその保護者

#### （Ⅲ）ボランティア部門

・ポスター原画選考

61点の応募作品から1点を選出

原画制作者：郷健太郎

・「みんなが自由に審査員」

展示作品に対し、来館者がコメントを残すシートを配布、掲示。

# 第10回やまぐち県民文化祭 第60回山口県美術展覧会

会期 2006年(平成18年)9月7日(木)～9月24日(日)  
会場 山口県立美術館

運営委員(50音順( )内は所属と専門分野)

- 荒瀬景敏 (美術作家)  
小南英昭 (山口県立大学生生活科学部助教授)  
濱本 聡 (下関市立美術館館長補佐)  
原田文明 (美術作家)  
堀家敬嗣 (山口大学教育学部助教授)  
松本 弘 (山口県教育委員会社会教育・文化財課長)  
三輪和彦 (美術作家)  
森川絃一郎 (周南市美術博物館長)  
横山眞佐子 (児童書専門店「(株)こどもの広場」主宰)  
吉野道久 (山口県環境生活部文化振興課長)



ポスター



パンフレット

## (I) 公募部門

### 1) 審査員(50音順)

- 青木正弘 (豊田市美術館学芸担当専門監)  
岡部あおみ (武蔵野美術大学教授)  
河崎晃一 (兵庫県立美術館学芸員)

### 2) 実績

応募総点数 325点  
展示点数 134点

### 3) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞点数合計	展示率(%)
325 (432)	101 (93)	33 (37)	134 (130)	31.0 (30.0)

( )の中は前年度数

### 4) 受賞者

#### 〈大賞〉

ヒトリゴト 2 手嶋大輔 福岡県

#### 〈優秀賞〉

Out of Disorder 岩崎貴宏 広島県  
作品06 中島しま子 萩市  
みのり 山科君代 山口市  
unw20815～消せない記憶 山本尚明 防府市  
色鉛筆で描く花の世界「徳地に住んで見えてくるもの」 吉村芳生 山口市

#### 〈佳作〉

再会の門 井岡義朋 山口市  
絆、ソシテ継エシ命。 泉將志 下関市  
想 一瀬章雄 下関市  
サイレント 上田幸吉 長門市  
夏の鉢 上野恵子 山口市  
COCOON 060825 大中和典 美東町  
トワイライト・ゾーン 岡田邦彦 周南市

おもちゃ	岡本よしろう	山口市
せかい	岡本よしろう	山口市
自在—主張を拒まれ、長いものに巻かれてゆくのか?—	兼原啓二	防府市
魚になりたい	川尻涼	山口市
メント・モリ	重宗玉緒	防府市
かけ橋のオブジェ	末田浩一	光市
流れつつまれる	立石恵	山陽小野田市
世界—預言	永田恭章	長門市
cinamon TEA	西村亜希子	下関市
視線	西村奈都子	下関市
森の記憶	深田佳心	山口市
ハナノジカン	保手浜拓	山口市
汚れっちまった悲しみに。	松田鶴信	宇部市
生の記憶 '06—B	三上研治	広島県
from Highway	三輪恭子	福岡県
AYATORI 式番館	村岡真樹	下関市
TRAVEL 06—1	山下哲郎	周防大島町
The voice	山根麻文美	田布施町
ラッキーキャットと万才童子	山本和樹	下関市
響	山本桂韶	平生町

#### 〈特別展示〉

この一年	花田博通	下関市
------	------	-----

#### (Ⅱ) ワークショップ部門

その1 こども編「がらすごし」

日時 平成18年9月16日(土) 14:00～

会場 山口県立美術館

講師 倉科勇三(美術作家)

対象・定員 小学校4・5・6年生・中学生 20人

その2 大人編「しろいろくろいろ」

日時 平成18年9月17日(日) 14:00～

会場 山口県立美術館講座室

講師 倉科勇三(美術作家)

対象・定員 高校生以上 30人

その3 誰でもOK編「自作を語る」(入選者によるギャラリートーク)

11回実施

#### (Ⅲ) ボランティア部門

・ポスター原画選考

応募作品37点から1点を選出

原画制作者:西井和義

・ビデオ「県美展舞台裏物語」上映

・「カ・タ・チになるまで」(写真による入選作品・作者紹介)

## (2) 美術館ニュース「天花」

「天花」のタイトルは、大内時代、雪舟が山口市天花（てんげ）に雲谷庵をいとなんだという故事にちなんで命名されたもの。第1～60号まではB5判、第61～79号まではA4判であったが、80号から現行のA5判となっており、年間スケジュール、展覧会や各種活動の紹介、所蔵品紹介を行っている。

### 第97号（平成17年7月15日）

新収蔵品紹介  
県美展予告  
空調設備改修工事ともなう  
休館のお知らせ  
休館中の美術館活動紹介  
年間スケジュール



### 第98号（平成17年9月22日）

雪舟への旅展予告  
雪舟への旅展イベント  
第59回山口県美術展覧会  
年間スケジュール



### 第99号（平成18年1月4日）

所蔵品紹介  
雪舟への旅展予告  
休館中の美術館活動紹介  
年間スケジュール



### 第100号（平成18年3月31日）

常設展  
ウィーン美術アカデミー名品展  
年間スケジュール



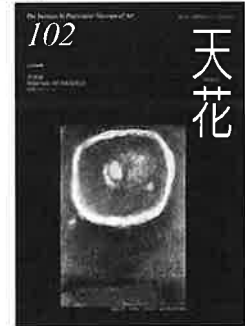
### 第101号（平成18年7月20日）

常設展  
雲谷派展  
第60回山口県美術展覧会  
年間スケジュール



### 第102号（平成18年9月7日）

常設展  
第60回山口県美術展覧会  
年間スケジュール



### 第103号（平成18年10月20日）

常設展予告  
「雪舟への旅」展  
年間スケジュール



### 第104号（平成19年3月15日）

常設展  
「日本画の流れ」  
平成19年度展覧会予告  
年間スケジュール



### (3) 展覧会貸出事業

所蔵品で構成した展覧会を希望する市町村に貸出し、地域文化の振興に資するという趣旨のもとで、展覧会貸出事業を実施した。

## 山口県立美術館所蔵作品展 萩焼—茶陶の魅力

会期：2006（平成18）年3月9日（木）～3月19日（日）

会場：和木美術館

主催：和木町教育委員会

協力：山口県立美術館

### (1) 趣旨

400年にもおよぶ萩焼の伝統のなかで、中心的な役割を果たしてきた茶陶。茶碗だけでなく、水指、花入れなども萩焼の豊かな伝統に華を添えてきた。江戸初期から現在に至るまでの31点の作品を展示することで、萩焼の茶陶としての魅力と歴史を紹介する。

### (2) 印刷物

ポスター：A2判カラー パンフレット：A4判カラー6ページ

### (3) 出品作品

山口県立美術館所蔵作品31点（陶）

### (4) 入場者数

610名



パンフレット

## (4) 博物館実習

### (1) 平成17年度

#### ■実習生学校別内訳

1	愛知県立芸術大学（美術学部）	1名
2	西南学院大学（文学部）	1名
3	名古屋芸術大学（デザイン学部）	1名
4	神戸学院大学（人文学部）	1名
5	成安造形大学（造形学部）	1名
6	京都橘大学（文化政策学研究科）	1名
7	熊本大学（文学部）	2名
8	山口県立大学（国際文化学部、生活科学部、国際文化学研究科）	5名
9	女子美術大学（芸術学部）	1名
10	京都女子大学（文学部）	1名
11	広島女学院大学（文学部）	1名
12	山口大学（人文学部）	4名
計12大学、20名		

#### ■実習内容

8月29日（月）	9：00～10：30	オリエンテーション	河野通孝
	10：40～12：10	山口県立美術館について	河野通孝
	13：00～14：30	美術館と行政	河野通孝
	14：40～16：10	美術館と学芸員	河野通孝
8月30日（火）	9：00～10：30	写真の撮影	岩井共二
	10：40～12：10	美術品の梱包	岩井共二
	13：00～14：30	美術館と写真	河野通孝
	14：40～16：10	写真の取り扱い	河野通孝
8月31日（水）	9：00～10：30	美術館と作家顕彰1	安井雄一郎
	10：40～12：10	美術館と作家顕彰2	安井雄一郎
	13：00～14：30	展覧会企画について1	斎藤郁夫
	14：40～16：10	展覧会企画について2	斎藤郁夫
9月1日（木）	9：00～10：30	作品の管理について	剣持あずさ
	10：40～12：10	作品のチェックについて	剣持あずさ
	13：00～14：30	教育普及活動について	前田淳子
	14：40～16：10	近年の美術館をめぐる状況変化	前田淳子
9月2日（金）	9：00～10：30	古美術品の取り扱い1	荻開津通彦
	10：40～12：10	古美術品の取り扱い2	荻開津通彦
	13：00～14：30	美術館と学校の連携1	杉野愛
	14：40～16：10	美術館と学校の連携2	杉野愛
9月3日（土）	9：00～10：30	美術館の広報活動について	河野通孝
	10：40～12：10	美術館の広報活動について	河野通孝
	13：00～14：30	美術館のサインについて	河野通孝
	14：40～16：10	都市と美術館	河野通孝
9月4日（日）	9：00～10：30	立体作品の取り扱いについて1	河野通孝
	10：40～12：10	立体作品の取り扱いについて2	河野通孝
	13：00～14：30	美術館の役割	河野通孝
	14：40～16：10	まとめ	河野通孝

## (2) 平成18年度

### ■実習生学校別内訳

1	成安造形大学（造形学部）	1名
2	東亜大学（総合人間・文化学部）	1名
3	宝塚造形芸術大学（映像造形学科）	1名
4	山口大学（人文学部）	6名
5	山口県立大学（国際文化学部、生活科学部）	4名
6	九州産業大学（芸術学部）	2名
計6大学、15名		

### ■実習内容

8月21日（月）	9：00～10：30	オリエンテーション	河野通孝
	10：40～12：10	写真の取り扱い	河野通孝
	13：00～14：30	美術館と作家顕彰	安井雄一郎
	14：40～16：10	美術館と作家顕彰	安井雄一郎
8月22日（火）	9：00～10：30	展覧会企画	斎藤郁夫
	10：40～12：10	展覧会企画	斎藤郁夫
	13：00～14：30	作品の管理	剣持あずさ
	14：40～16：10	作品のチェック	剣持あずさ
8月23日（水）	9：00～10：30	古美術品の取り扱い	岩井共二
	10：40～12：10	古美術品の取り扱い	岩井共二
	13：00～14：30	写真の撮影	岩井共二
	14：40～16：10	美術品の梱包	岩井共二
8月24日（木）	9：00～10：30	教育普及活動	前田淳子
	10：40～12：10	近年の美術館をめぐる状況変化	前田淳子
	13：00～14：30	県美展準備	前田淳子
	14：40～16：10	県美展準備	前田淳子
8月25日（金）	9：00～16：30	県美展（1）実際の作品の取り扱い	
8月26日（土）	9：00～16：30	県美展（2）実際の作品の取り扱い	
8月27日（日）	9：00～16：30	県美展（3）実際の作品の取り扱い	



## (5) 美術館ボランティア

### 趣旨

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設け、ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて、県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

### 平成17年度

3期生の募集を行い、1年間の養成講座を実施した。1・2期生は平成16年度に引き続きグループ別に活動を企画し実施した。休館期間は、18年度に開催される雪舟展にむけての勉強や所蔵作品の勉強を行うほか、10月に開催されたボランティアメッセ（会場：萩博物館）に参加し、活動を紹介する掲示を行った。また、解説などの活動に役立てるため1～3期生合同で、リトグラフの実習も行い技法についての理解を深めた。

登録人数：31名

5月28日（土）	16年度活動をふりかえる
6月4日（土）	17年度の活動について
6月25日（土）	3期生にボランティア活動を紹介（各ボランティア班代表）
7月9日（土）	3期生講座聴講「Visual Thinking Curriculumについて」（福のり子 京都造形大教授）
8月27日（土）	作品の扱い方
9月9/10/11日（金/土/日）	県美展作品搬入（下関市立美術館）
9月13/14日（火/水）	県美展審査会（下関市立美術館）
11月3日（祝）	雪舟展イベント聴講「アートと鑑賞者」「子どもとアート」（アメリカ・アレナス エducator）
11月13日（日）	雪舟研究会講座聴講「山水長巻を見よう！」（会場：毛利博物館）
1月14日（土）	鑑賞ツールの制作について（藤田千織 東京国立博物館研究員）
1月21日（土）	リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画作家）
1月28日（土）	リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画作家）
2月4日（土）	リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画作家）
2月11日（土）	ウィーン美術アカデミー名品展レクチャー（窺持学芸員）
2月18日（土）	ウィーン美術アカデミー名品展レクチャー（河野普及課長）
2月25日（土）	他館見学（福岡市美術館「九州から見た雪舟」展・ボランティア活動見学）

### グループ別活動内容

#### 教育普及班

- ・興福寺国宝展 こどものためのギャラリーツアー実施（会期中毎週土曜日11：00～）

#### 広報班

- ・職員・ボランティア自己紹介誌編集
- ・ボランティア内の情報交換紙「café101」編集

#### 常設解説班

- ・興福寺国宝展特別展示 ギャラリートーク（会期中毎週土曜日13：00～）

#### 展覧会サポート班

- ・興福寺国宝展 「無著・世親セリフ付けパネル」会場内休憩室に掲示
- ・興福寺国宝展 パンフレット「興福寺展の小耳な話」会場内で配布
- ・県美展 「みんなで自由に審査員」会場で実施

#### HP班

- ・美術館ホームページ内ボランティア情報の更新

#### その他

- ・県美展搬入審査会参加
- ・県美展パンフレット原稿執筆

- ・ボランティアメッセ（萩博物館 10月8～10日）参加

### 3期生

平成17年4月にボランティア3期生を募集し、5月21日より1年間の養成講座を実施した。  
応募者は6名 内訳と養成講座は以下のとおり

#### 年代別人数

20代	30代	40代	50代	60代
2人	2人	0人	1人	1人

#### 地域別人数

山口市	下松市	吉敷郡
3人	1人	2人

#### 養成講座

- 5月21日（土） 開講式・ボランティアの活動紹介（前田学芸員）
- 5月28日（土） ボランティアとしての心構え（前田学芸員）
- 6月4日（土） 美術館の役割（斎藤学芸課長）
- 6月11日（土） 山口県立美術館の活動紹介（安井副館長）
- 6月18日（土） ポスター原画選考（小南英昭 山口県立大学助教授）
- 6月25日（土） ボランティア活動紹介（各ボランティア班代表）
- 7月2日（土） 美術館の教育普及活動（前田学芸員）
- 7月9日（土） Visual Thinking Curriculumについて（福のり子 京都造形大教授）
- 7月16/23/30日（土） ギャラリートーク練習
- 8月27日（土） ギャラリートーク練習
- 9月9/10/11日（金/土/日） 県美展作品搬入（於：下関市立美術館）
- 9月13/14日（火/水） 県美展審査会（於：下関市立美術館）
- 10月1日（土） ボランティアメッセ準備
- 10月8/9日（土/日） ボランティアメッセ参加
- 10月15日（土） 水墨画について（荏開津学芸員）
- 10月22日（土） 雪舟について（荏開津学芸員）
- 10月29日（土） 山水長巻について（前田学芸員）
- 11月3日（祝） 「アートと鑑賞者」「子どもとアート」（アメリア・アレナス エducator）
- 11月13日（日） 雪舟展イベント「山水長巻を見よう！」聴講（毛利博物館）
- 11月19日（土） 写真について（河野普及課長）
- 11月26日（土） 教育普及ツール紹介1（前田学芸員）
- 12月3日（土） 教育普及ツール紹介2（前田学芸員）
- 12月10日（土） 教育普及ツール紹介3（前田学芸員）
- 12月17日（土） 教育普及ツール紹介4（杉野学芸員）
- 1月14日（土） 鑑賞ツールの制作について（藤田千織 東京国立博物館研究員）
- 1月21日（土） リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画家）
- 1月28日（土） リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画家）
- 2月4日（土） リトグラフ版画講座（前嶋温子 版画家）
- 2月11日（土） 常設展示作品解説
- 2月18日（土） ギャラリートーク準備
- 2月25日（土） 他館見学（福岡市美術館「九州から見た雪舟」展・ボランティア活動見学）
- 3月4日（土） ギャラリートーク準備
- 3月11日（土） ギャラリートーク準備
- 3月18日（土） ギャラリートーク練習
- 3月25日（土） ギャラリートーク練習

## 平成18年度

3期生が合流し、グループ別に活動を行った。

活動時間は基本的には毎週土曜日午前10時～12時とし、他に必要な場合はグループ毎に適宜集まり活動を行った。

ボランティアメッセ06（9月23日・24日 九州国立博物館）で、活動の紹介を行った（文章と写真でまとめたものを展示）。

登録人数：24名

- 5月27日（土） 雲谷派展レクチャー（荏開津学芸員）
- 6月3日（土） 活動報告会
- 7月1日（土） 県美展ポスター原画審査
- 8月26日（土） 松田正平レクチャー（安井副館長）
- 9月23日（土） 雪舟への旅展レクチャー（河野普及課長）
- 10月7日（土） 屋外展示彫刻作品レクチャー（安井副館長）
- 12月16日（土） 活動報告会
- 1月20日（土） 菅木志雄とダン・グレアムの作品について（斎藤学芸課長）
- 2月10日（土） 「日本水彩画会の二人」「山口県ゆかりの洋画家」レクチャー（安井副館長）
- 2月17日（土） 「現代の陶芸Ⅲ」レクチャー（岩井学芸員）
- 3月25日（日） 館外研修 九州国立博物館見学

### グループ別活動内容

#### 教育普及班

ウィーン美術アカデミー名品展

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」 会期中毎週土曜日 11：00～

雲谷派展

- ・こどものためのギャラリートーク「絵ハガキでゲームをしようよ」7/22、7/29、8/5、8/12、8/19 11：00～

雪舟への旅展

- ・こどものためのギャラリートーク「雪舟さんこんにちは！」 会期中毎週土曜日 11：00～

#### 展覧会サポート班

ウィーン美術アカデミー名品展

- ・ウィーン展豆知識（料理レシピ紹介など）

県美展

- ・「カ・タ・チになるまで」（写真による入選作品・作者紹介）

雪舟への旅展

- ・自分だけの山水長巻をつくろう！（消しゴムスタンプによる山水画づくり）
- ・山口の地図今昔（古地図と現在の地図で地名や通りを比較）

#### 常設トーク班

興福寺国宝展特別展示・常設展でのギャラリートーク 毎週土曜日 13：00～

#### 広報班

自己紹介誌発行

café101 発行

#### その他

県美展ポスター原画審査

県美展搬入・審査会参加

「県美展舞台裏物語」DVD制作 館内で上映

## (6) 美術館学校連携推進事業

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及のため、平成16年度より新規に開始、平成18年度をもって3ヶ年施策が完了。平成19年度より「美術館学校地域連携推進事業」へ発展。

### (1) 児童生徒向けプログラム

#### 【学校見学】

学校単位での来館に対し解説、他来館者との調整などをおこなう。

#### (1) 平成17年度

累計：児童生徒1195名

#### (2) 平成18年度

累計：児童生徒・教員3190名

#### 【出前授業】

多彩な授業を目指す学校や、学校単位での来館が困難な遠隔地の学校へ学芸員を派遣し、担任とともに授業を行う。

#### (1) 平成17年度

■日時 平成17年7月15日（金）

対象 防府市立大道中学校1・2年

授業者 杉山ヒロ子（防府市立大道中学校教諭）、荏開津通彦

授業名 「水墨画・風景画の鑑賞」

■日時 平成17年9月28日（水）

対象 阿東町立阿東東中学校3年

授業者 伊藤和子（阿東町立阿東東中学校教諭）、斎藤郁夫

授業名 「パブリックアート」

■日時 平成17年11月2日（水）

対象 秋芳町立秋芳南中学校2年

授業者 小田善郎（秋芳町立秋芳南中学校教諭）、岩井共二

授業名 「仏教美術の魅力（鑑賞～仏像の特徴を見つけよう～）」

■日時 平成17年11月15日（火）

対象 光市立岩田小学校5年

授業者 菅野雅人（光市立岩田小学校教諭）、杉野愛

授業名 「鳥獣戯画の鑑賞」

■日時 平成18年3月13日（月）

対象 田布施町立城南小学校5・6年

授業者 檜室豊（田布施町立城南小学校教諭）、前田淳子

授業名 「不思議な絵の鑑賞」

■日時 平成18年3月16日（木）

対象 防府市立牟礼中学校2年

授業者 重宗紀美江（防府市立牟礼中学校教諭）、岩井共二

授業名 「修学旅行事前学習・京都の文化財」

(2) 平成18年度

- 日 時 平成18年5月17日 (水)  
対 象 防府市立大道中学校3年  
授業者 佐々木順子 (防府市立大道中学校教諭)、杉野愛  
授業名 「修学旅行事前学習・琉球の美術」
  
- 日 時 平成18年6月8日 (木)  
対 象 周南市立須々万中学校2・3年  
授業者 伊藤幸子 (周南市立須々万中学校教諭)、劔持あずさ  
授業名 「ピカソ・ゲルニカ鑑賞」
  
- 日 時 平成18年7月11日 (火)  
対 象 防府市立大道中学校1～3年  
授業者 杉山ヒロ子 (防府市立大道中学校教諭)、斎藤郁夫、杉野愛、劔持あずさ  
授業名 「のこされた造形」(1年)、「日本絵画のすばらしさ」(2年)、「ルネッサンスの魅力」(3年)
  
- 日 時 平成18年9月25日 (月)  
対 象 萩市立明木中学校1～3年  
授業者 沓野千鶴 (萩市立明木中学校非常勤講師)、杉野愛  
授業名 「WHAT? 掛け軸／雪舟」
  
- 日 時 平成18年10月3日 (火)  
対 象 秋芳町立秋芳南中学校3年  
授業者 小田善郎 (秋芳町立秋芳南中学校教諭)、杉野愛  
授業名 「水墨画の特徴と歴史」
  
- 日 時 平成18年11月7日 (火)  
対 象 防府市立桑山中学校1年  
授業者 町田匡代 (防府市立桑山中学校教諭)、荏開津通彦  
授業名 「水墨画・雪舟 (雪舟への旅展)」
  
- 日 時 平成18年11月13日 (月)  
対 象 秋芳町立秋芳南中学校1～3年  
授業者 小田善郎 (秋芳町立秋芳南中学校教諭)、杉野愛  
授業名 「雪舟についてもっと知ろう」
  
- 日 時 平成18年11月17日 (金)  
対 象 山口市立大内南小学校5年  
授業者 三浦しのぶ (山口市立大内南小学校教諭)、杉野愛  
授業名 「おしえて雪舟さん！」

**【授業相談・教材開発】**

(1) 平成17年度

- 鑑賞授業に向けて「ビデオレター」制作  
日 時 平成17年9月27日 (火)  
場 所 山口県立美術館  
出演者 杉野愛  
企画者 世良裕子 (玖珂町立中央小学校教諭)  
内 容 「鑑賞 (絵をみる かんがえる たのしむ)」

- 所蔵品ガイド『みる・しる・しらべるコレクション 雪舟筆「牧牛図」』  
平成18年3月31日発行  
山口県内全幼稚園～高等学校へ配布し、美術館と所蔵品、鑑賞教育を普及する。



牧牛図ガイド

(2) 平成18年度

- 所蔵品ガイド『みる・しる・しらべるコレクション 雪舟筆「牧牛図」』  
オクターブ、平成18年11月1日初版第1刷発行、全国書店にて販売。  
12月「全国学校図書館協議会選定図書」に選定される。平成19年2月28日第2版第1刷発行。

## 【展覧会ガイド】

子ども向けにわかりやすく解説した展覧会ガイドを小中学校へ配布し、美術館を普及する。

(1) 平成17年度

- ガイド名 興福寺国宝展「興福寺国宝展豆書状」  
配布先 県内全公立小中学校 約13万部



興福寺豆書状

(2) 平成18年度

- ガイド名 ウィーン美術アカデミー名品展「美術館旅券（ミュージアムパスポート）」  
配布先 県内全公立小中学校 約13万部



パスポート

- ガイド名 雪舟への旅展「雪舟 人生×旅 双六」  
配布先 県内全公立小中学校 約13万部

## (2) 教員向けプログラム

### 【教員向け講座】

教員を対象に学芸員が展覧会を解説し、資質向上と授業への活用促進を目指す。

(1) 平成17年度

累計：参加教員231名

- 日 時 平成17年4月16（土）・17日（日）10：00～12：30  
場 所 山口県立美術館  
講 師 岩井共二  
主 題 「興福寺国宝展」  
参加者 35名



雪舟双六

- 日 時 平成17年7月10日（日）14：00～16：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 福のり子（京都造形芸術大学教授）  
主 題 「子どもにギャラリートーク」  
参加者 26名

- 日 時 平成17年9月18日（日）10：00～12：30  
場 所 山口県立萩美術館・浦上記念館  
講 師 上田秀夫（山口県立萩美術館・浦上記念館副館長）  
主 題 「東アジア中世海道展」  
参加者 7名

- 日 時 平成17年11月3日（木・祝）10：30～18：00  
場 所 山口情報芸術センター（YCAM）

講師 アメリア・アレナス（エドゥケーター）  
主 題 「アートと鑑賞者」  
参加者 127名

■日 時 平成17年12月3日（土）10：00～12：30  
場 所 周南市美術博物館  
講 師 松本久美子（周南市美術博物館学芸員）  
主 題 「現代美術のABC展」  
参加者 21名

■日 時 平成18年1月7日（土）10：00～12：30  
場 所 下関市立美術館  
講 師 濱本聡（下関市立美術館学芸員）  
主 題 「美術探検隊！近代絵画の巨匠たち展」  
参加者 15名

## (2) 平成18年度

累計：参加教員180名

■日 時 平成18年4月15日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 河野通孝  
主 題 「ウィーン美術アカデミー名品展」  
参加者 28名

■日 時 平成18年5月13日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 斎藤郁夫  
主 題 「美術とはアートとはなにか」  
参加者 16名

■日 時 平成18年6月17日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立萩美術館・浦上記念館  
講 師 藤村忠範（山口県立萩美術館・浦上記念館学芸員）  
主 題 「萩美・浮世絵講座～雅／俗展」  
参加者 11名

■日 時 平成18年7月8日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 荻開津通彦  
主 題 「県美・雲谷派講座」  
参加者 11名

■日 時 平成18年8月19日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 前田淳子  
主 題 「鑑賞の指導案をつくってみよう」  
参加者 11名

■日 時 平成18年9月9日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 河野通孝  
主 題 「学校と美術館の教育」  
参加者 5名

■日 時 平成18年11月4日（土）16：00～18：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 山下裕二（雪舟研究会研究委員、明治学院大学教授）  
主 題 「雪舟への旅展 雪舟入門！」  
参加者 65名

■日 時 平成18年11月25日（土）10：00～12：00  
場 所 下関市立美術館  
講 師 岡本正康（下関市立美術館学芸員）  
主 題 「ロダン展」  
参加者 13名

■日 時 平成19年1月13日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 岩井共二  
主 題 「県美コレクションⅠ」  
参加者 8名

■日 時 平成19年2月10日（土）10：00～12：30  
場 所 山口県文書館、山口県立山口図書館、山口県埋蔵文化財センター、山口県立山口博物館、山口県立美術館  
講 師 吉積久年（山口県文書館副館長）、辻村晴夫（山口県立山口図書館）、石井龍彦（山口県埋蔵文化財センター）、三時輝久（山口県立山口博物館副館長）、安井雄一郎  
主 題 「パークロードで学ぼう」  
参加者 4名

■日 時 平成19年3月10日（土）10：00～12：00  
場 所 山口県立美術館  
講 師 杉野愛  
主 題 「県美コレクションⅡ」  
参加者 8名

## 【山口県造形教育研究会等との連携】

### (1) 平成17年度

#### [学芸員の派遣]

■日 時 平成17年6月3日（金）  
場 所 山口大学教育学部附属山口小学校  
対 象 山口県造形教育研究会支部長研修会  
講 師 杉野愛  
主 題 「美術館と連携した鑑賞学習」

■日 時 平成17年8月10日（水）・11日（木）  
場 所 山口大学教育学部附属光小学校  
対 象 山口県造形教育研究ゼミナール大会  
講 師 菅野雅人（光市立岩田小学校教諭）、足立直之（山口市立潟上中学校）、杉野愛  
主 題 「美術館と連携した鑑賞指導」

■日 時 平成17年9月21日（水）  
場 所 山口市立白石小学校  
対 象 山口市立白石小学校校内研修会  
講 師 津室和彦（山口市立白石小学校教諭）、杉野愛



主 題 「鑑賞教育の理論と演習」

- 日 時 平成17年12月26日（月）  
場 所 山口市立白石小学校  
対 象 山口市教育研究会造形部会自主学習会  
講 師 小野素子（山口市立大内小学校）、辻本紳一郎（山口市立平川小学校）、前田淳子、颯持あずさ  
主 題 「鑑賞指導の実際 独立した鑑賞・ピカソ」

(2) 平成18年度

[学芸員の派遣]

- 日 時 平成18年6月6日（火）  
場 所 山口大学教育学部附属山口小学校  
対 象 山口県造形教育研究会支部長研修会  
講 師 前田淳子  
主 題 「県立美術館と学校の連携・教員向け講座について」
- 日 時 平成18年7月8日（土）  
場 所 岩国市福祉会館  
対 象 さんぽ七夕研修会（岩国市内3保育園合同研修会）  
講 師 前田淳子、杉野愛  
主 題 「絵をよむ／絵本をみる～鑑賞教育」
- 日 時 平成18年7月28日（金）  
場 所 岩国市中央公民館  
対 象 岩国市・和木町小学校教育研究会図工部会  
講 師 杉野愛  
主 題 「アート・ゲーム」
- 日 時 平成18年8月10日（木）・11日（金）  
場 所 山口大学教育学部附属光小学校  
対 象 山口県造形教育研究ゼミナール大会  
講 師 岡田健志（山口大学教育学部附属光小学校）、杉野愛  
主 題 「美術作品の見方・対話型鑑賞指導—鑑賞指導における4つの基本的な方法」
- 日 時 平成18年8月21日（月）  
場 所 長門市神田小学校  
対 象 長門市神田小学校校内研修会  
講 師 前田淳子  
主 題 「対話型鑑賞法について」
- 日 時 平成18年8月22日（火）  
場 所 下関市立勝山中学校  
対 象 下関市中学校教育研究会美術部会  
講 師 杉野愛  
主 題 「美術館と連携した鑑賞教育入門」
- 日 時 平成18年11月8日（水）  
場 所 山口市立白石小学校  
対 象 山口県造形教育研究大会山口大会  
講 師 高木秀樹（山口大学教育学部附属山口小学校教諭）、前田淳子  
主 題 「雪舟の残したメッセージ」

- 日 時 平成18年11月8日（水）  
場 所 山口市立白石小学校  
対 象 山口県造形教育研究大会山口大会  
講 師 中野寿美（山口市立宮野中学校教諭）、河野通孝  
主 題 「雪舟の表した四季を味わう」

[寄稿]

- 杉野愛「学校教育と美術館教育の鑑賞における調和―山口県立美術館の取り組み―」  
福田隆真監修、山口県造形教育研究会研究部編著『子どもの絵は語る 絵からよみとく子どものメッセージ』  
（三晃書房、平成18年11月20日）

#### 【情報センター】

教員・学芸員の日常的な連携をサポートするため、メーリングリストを運営する。

(1) 平成17年度

累計：参加教員・学芸員60名

(2) 平成18年度

累計：参加教員・学芸員76名

## (7) その他の事業

シンフォニア岩国（山口県民文化ホールいわくに）との共催で館蔵品展を開催した。

山口県立美術館所蔵品展 ふしぎな世界

会期：2005年11月23日（水・祝）～12月5日（月）

会場：シンフォニア岩国 企画展示ホール

主催：(財)山口県文化振興財団、山口県立美術館

後援：山口県、岩国市、山口県教育委員会、岩国市教育委員会、岩国市文化協会、(財)岩国の文化を育てる会

### (1) 趣旨

山口県立美術館の所蔵品から、特殊な作風をもつ作品にスポットをあて紹介した。とりわけ、これまで来場が少なかった小学生から高校生までを対象とした広報に重点を置き、「この作品はどのようにして作ったのだろう」という思いから、美術をもっと身近に感じ、よりいっそう関心が深まることをめざした。

### (2) 出品作品

山口県立美術館所蔵作品31点

出品作家：三島喜美代、井上雅之、佐々木成、荒木高子、西村陽平、畠山直哉、ウーライ、小本章、三浦俊輔

### (3) 会期中のイベント等

山口県立美術館学芸員によるギャラリー・トーク 11月27日（日） 11：00～

### (4) 入場者数

1,628人



# 事業

## Ⅲ. 調査研究事業



## 雪舟研究会

### 平成17年度

#### ■研究委員会

##### 第1回

日時 5月15日(日) 10:00～12:00

場所 山口県立美術館会議室

出席	島尾 新 (多摩美術大学教授)	研究委員長
	山下 裕二 (明治学院大学教授)	研究委員
	守安 收 (岡山県立美術館学芸課長)	研究委員
	高橋 範子 (正木美術館主席学芸員)	研究委員
	影山 純夫 (神戸大学教授)	研究委員
	福島 恒徳 (花園大学助教授)	研究委員
	綿田 稔 (東京文化財研究所研究員)	研究委員
	荏開津通彦 (山口県立美術館学芸員)	事務局員
	杉野 愛 (山口県立美術館学芸員)	事務局員

##### 第2回

日時 8月20日(土) 10:00～12:00

場所 山口県立美術館会議室

出席	島尾 新 (多摩美術大学教授)	研究委員長
	山下 裕二 (明治学院大学教授)	研究委員
	守安 收 (岡山県立美術館学芸課長)	研究委員
	高橋 範子 (正木美術館主席学芸員)	研究委員
	影山 純夫 (神戸大学教授)	研究委員
	福島 恒徳 (花園大学助教授)	研究委員
	綿田 稔 (東京文化財研究所研究員)	研究委員
	荏開津通彦 (山口県立美術館学芸員)	事務局員
	杉野 愛 (山口県立美術館学芸員)	事務局員

##### 第3回

日時 11月12日(土) 10:00～12:00

場所 山口県立美術館会議室

出席	島尾 新 (多摩美術大学教授)	研究委員長
	山下 裕二 (明治学院大学教授)	研究委員
	守安 收 (岡山県立美術館学芸課長)	研究委員
	高橋 範子 (正木美術館主席学芸員)	研究委員
	影山 純夫 (神戸大学教授)	研究委員
	福島 恒徳 (花園大学助教授)	研究委員
	綿田 稔 (東京文化財研究所研究員)	研究委員
	荏開津通彦 (山口県立美術館学芸員)	事務局員
	杉野 愛 (山口県立美術館学芸員)	事務局員

#### ■公開レクチャー 山水長巻を見よう!

日時 11月13日(日) 11:00～16:00

場所 毛利博物館

講師	第1回 11:00～	講師: 山下 裕二 (明治学院大学教授)
	第2回 13:00～	講師: 島尾 新 (多摩美術大学教授)
	第3回 15:00～	講師: 荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任)

## 平成18年度

### ■研究委員会

#### 第1回

日時	7月11日(火)	13:30~15:30	
場所	山口県立美術館会議室		
出席	島尾 新 (多摩美術大学教授)		研究委員長
	山下 裕二 (明治学院大学教授)		研究委員
	守安 収 (岡山県立美術館学芸課長)		研究委員
	高橋 範子 (正木美術館主席学芸員)		研究委員
	影山 純夫 (神戸大学教授)		研究委員
	福島 恒徳 (花園大学助教授)		研究委員
	綿田 稔 (東京文化財研究所研究員)		研究委員
	荏開津通彦 (山口県立美術館学芸員)		事務局員

#### 第2回 11月23日(木・祝) 10:30~12:00

場所	山口県立美術館会議室		
出席	島尾 新 (多摩美術大学教授)		研究委員長
	山下 裕二 (明治学院大学教授)		研究委員
	守安 収 (岡山県立美術館学芸課長)		研究委員
	高橋 範子 (正木美術館主席学芸員)		研究委員
	影山 純夫 (神戸大学教授)		研究委員
	福島 恒徳 (花園大学助教授)		研究委員
	綿田 稔 (東京文化財研究所研究員)		研究委員
	荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任)		事務局員
	杉野 愛 (山口県立美術館学芸員)		事務局員

### ■研究誌「天開圖畫」第6号の発刊 (平成18年9月30日発行)

雪舟研究会十周年にあたって	島尾 新
『島陰漁唱』に読む桂庵玄樹の動向と雪舟(前編)	渡邊 雄二
雪舟入明補遺—シンポジウム報告と「破墨山水図」のこと	綿田 稔
【資料】雪舟研究会活動記録	



天開圖畫



# 事業

## IV. 収集事業



## (1) 館藏品貸出利用状況

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
コピー '82	三島喜美代	2005/4/8—2005/6/23	浜田市世界こども美術館	謎なぞ美術展	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
PEINTURE 絵画	井川愼亮	〃	〃	〃	
マスク	澄川喜一	〃	〃	〃	
逃れゆく思念	深井隆	2005/4/8—2006/6/7	ひろしま美術館	りんごの秘密展	
萩割高台茶碗	不詳	2005/5/1—2005/8/3	五島美術館、徳川美術館	茶の湯 名碗 その二 茶碗に開いた新たな江戸の 美意識	
萩三島写茶碗「椎葉」	不詳	〃	〃	〃	
森の中の子供たち-指月山-（「萩の日々」より）	下瀬信雄	2005/6/8—2005/6/13	ニッコールクラブ山口支部、 株式会社日本カメラ社	下瀬信雄写真展 「結界、それまでの軌跡」	
無性に足を濡らしてみたくなる修学旅行 -菊ヶ浜-（「萩の日々」より）	〃	〃	〃	〃	
海 -笠山・虎ヶ崎-（「萩の日々」より）	〃	〃	〃	〃	
「レクイエム」より 2点	〃	〃	〃	〃	寄託
「旧家または望郷」より 1点	〃	〃	〃	〃	寄託
「萩」より 2点	〃	〃	〃	〃	寄託
山水図巻	雪舟等楊	2005/6/22—2005/8/24	根津美術館	明代絵画と雪舟	
牧牛図（牧童）	雪舟等楊	〃	〃	〃	
牧牛図（渡河）	雪舟等楊	〃	〃	〃	
ラストスパート	桂ゆき	2005/7/6—2005/9/18	栃木県立美術館	前衛の女性1950—1975	寄託
朝陽	香月泰男	2005/7/20—2005/8/24	ひろしま美術館	香月泰男展	
鷹	〃	〃	〃	〃	
神農	〃	〃	〃	〃	
埋葬	〃	〃	〃	〃	
涅槃	〃	〃	〃	〃	
ダモイ	〃	〃	〃	〃	
渚〈ナホトカ〉	〃	〃	〃	〃	
デモ	〃	〃	〃	〃	
日本海	〃	〃	〃	〃	
風景	〃	〃	〃	〃	
護	〃	〃	〃	〃	
左官	〃	〃	〃	〃	
乗客	〃	〃	〃	〃	
1945	〃	〃	〃	〃	
北へ西へ	〃	〃	〃	〃	
穴掘人	〃	〃	〃	〃	
運ぶ人	〃	〃	〃	〃	
ホロンパイル	〃	〃	〃	〃	
伐	〃	〃	〃	〃	
鋸	〃	〃	〃	〃	
荊	〃	〃	〃	〃	
星〈有刺鉄線〉夏	〃	〃	〃	〃	
復員〈タラップ〉	〃	〃	〃	〃	
〈私の〉地球	〃	〃	〃	〃	
雨	〃	〃	〃	〃	
別	〃	〃	〃	〃	
青の太陽	〃	〃	〃	〃	
業火	〃	〃	〃	〃	
朕	〃	〃	〃	〃	
点呼（右）	〃	〃	〃	〃	
点呼（左）	〃	〃	〃	〃	
-35°	〃	〃	〃	〃	
絵具箱	〃	〃	〃	〃	
海拉爾	〃	〃	〃	〃	
日の出	〃	〃	〃	〃	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
月の出	香月泰男	2005/7/20—2005/8/24	ひろしま美術館	香月泰男展	
雨〈牛〉	〃	〃	〃	〃	
幼鷹	香月泰男	2005/7/27—2005/9/7	北九州市立美術館	奇想天外? 北九州市立動物園美術館	
オヒョウ (大きな魚)	松田正平	〃	〃	〃	
作品	水野峰夫	2005/8/4—2006/3/25	Long Beach Museum of Art	Crossing Boundaries: The Ceramic Sculpture of Mineo Mizuno	
絹本着色釈迦三尊像	不詳	2005/9/1—2005/10/20	萩博物館	大萩市の文化財展	寄託
八臂弁財天	狩野芳崖	2005/10/17—2006/1/20	京都市美術館	「修羅と菩薩のあいだで—もうひとりの人間像」展	
羅漢図 (右幅)	〃	〃	〃	〃	
羅漢図 (左幅)	〃	〃	〃	〃	
伝順徳妙孝大師画像	不詳	2005/10/21—2005/12/9	安芸高田市吉田歴史民俗資料館	毛利元就と中世安芸高田	寄託
紺糸を干す	小野竹喬	2005/10/28—2005/12/6	笠岡市立竹喬美術館	「竹橋」時代の竹喬」展	
山水図巻	雪舟等楊	2005/11/8—2005/12/1	益田市立雪舟の郷記念館	雪舟益田没後500年記念特別展「雪舟さん」	
上高地 (其三)	小林和作	2006/1/27—2006/4/7	田辺市立美術館	小林和作展	
カプリ島	〃	〃	〃	〃	
エクス風景	〃	〃	〃	〃	
海	〃	〃	〃	〃	
海	〃	〃	〃	〃	
婦人像	〃	〃	〃	〃	
春の海	〃	〃	〃	〃	
愛吾廬図	松林桂月	2006/5/26—2006/7/26	兵庫県立美術館、福岡アジア美術館、美術館連絡協議会	台湾の女性日本画家 生誕100年 陳進	
静物	福田勝治	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—	
静物	〃	〃	〃	〃	
明日待子	〃	〃	〃	〃	
姿	〃	〃	〃	〃	
夏姿・深川娘	〃	〃	〃	〃	
黒髪	〃	〃	〃	〃	
無題	〃	〃	〃	〃	
心の小窓 (藤田泰子)	〃	〃	〃	〃	
光りの貝殻	〃	〃	〃	〃	
白紙	〃	〃	〃	〃	
静物	〃	〃	〃	〃	
太陽光	〃	〃	〃	〃	
静物	〃	〃	〃	〃	
イタリア紀行: 舳を上げて	〃	〃	〃	〃	
イタリア紀行	〃	〃	〃	〃	
イタリア紀行: カステル・マダマにて	〃	〃	〃	〃	
イタリア紀行: 船も眠りに	〃	〃	〃	〃	
秋田市仁井田・青年 (「秋田」より)	木村伊兵衛	〃	〃	〃	
列車内 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
秋田 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
秋田 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
秋田市追分・板塀 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
大曲市内小友 湯治場 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
大曲・おぼこ (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
大曲市内小貫 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
大曲市内小友 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
大曲市内小友 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
六郷町・盆踊り (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	
横手 (「秋田」より)	〃	〃	〃	〃	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
大曲市大曲西根（「秋田」より）	木村伊兵衛	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—	
少女たち	植田正治	◇	◇	◇	
小狐登場	◇	◇	◇	◇	
風船をもった自画像	◇	◇	◇	◇	
パパとママとコドモたち（「綴り方・私の家族」より）	◇	◇	◇	◇	
パパとママとコドモたち（「綴り方・私の家族」より）	◇	◇	◇	◇	
ボクのお母さん	◇	◇	◇	◇	
砂丘にて 妻のいる砂丘風景（Ⅰ）	◇	◇	◇	◇	
砂丘にて 妻のいる砂丘風景（Ⅱ）	◇	◇	◇	◇	
砂丘 妻のいる砂丘風景（Ⅲ）	◇	◇	◇	◇	
砂丘人物	◇	◇	◇	◇	
砂丘人物	◇	◇	◇	◇	
土門拳と朝倉君	◇	◇	◇	◇	
砂丘群像 土門拳・石津良介・桑原甲子雄たち	◇	◇	◇	◇	
子供たちの祭	◇	◇	◇	◇	
歌ってゆく鳥追い 新潟桑取谷（「雪国」より）	濱谷浩	◇	◇	◇	
冬の道 秋田県船越近郊（「地の貌」より）	◇	◇	◇	◇	
津軽の男 青森県北津軽郡中里町近郊（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
氷の下の地引き網 秋田県八郎潟三倉鼻沖にて（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
田植女 富山県中新川郡上市町白萩（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
巾着網の積み込み作業 山口県阿武郡須佐町（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
稲刈り 山形県酒田市最上町（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
海の親子 山口県萩市見島	◇	◇	◇	◇	
娘宿 山口県萩市	◇	◇	◇	◇	
餅つくり 新潟県小千谷市（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
山の湯治場 青森県北郡谷地温泉（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
武家屋敷の跡 山口県萩市（「裏日本」より）	◇	◇	◇	◇	
青年宿 山口県萩市玉江浦	◇	◇	◇	◇	
煙草をくゆらす浮浪児 上野	林忠彦	◇	◇	◇	
引き揚げ 上野駅	◇	◇	◇	◇	
銀座のサンドイッチマン	◇	◇	◇	◇	
織田作之助	◇	◇	◇	◇	
太宰治	◇	◇	◇	◇	
倒壊したビルを家に 江戸川橋	◇	◇	◇	◇	
坂口安吾	◇	◇	◇	◇	
ゴミ捨て場のパー 大森	◇	◇	◇	◇	
豊漁 千葉県片貝	◇	◇	◇	◇	
軍隊酒場 新宿	◇	◇	◇	◇	
占領下の皇居前広場	◇	◇	◇	◇	
議事堂と傷痍軍人	◇	◇	◇	◇	
歌声喫茶 新宿	◇	◇	◇	◇	
日覆	岩宮武二	◇	◇	◇	
鏡	◇	◇	◇	◇	
蝶 習作	◇	◇	◇	◇	
ヌード 習作	◇	◇	◇	◇	
砂丘	◇	◇	◇	◇	
猫	◇	◇	◇	◇	
マヌカン	◇	◇	◇	◇	
マヌカン	◇	◇	◇	◇	
マヌカン	◇	◇	◇	◇	
マヌカン	◇	◇	◇	◇	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
マヌカン (カラー)	岩宮武二	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—	
三原山<馬>	〃	〃	〃	〃	
妻の死 (「ピカドン」より)	福島菊次郎	〃	〃	〃	
ボラを突く (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
8年目の病床 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
火をおこす (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
おかあさんの墓 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
猫と歩く (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
容子の青春 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
容子の悲しみ (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
絶望の日々 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
発作 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
不治の宣告 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
原爆症に蝕まれて (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
狂気の傷跡 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
中村杉松の死 (「ピカドン」より)	〃	〃	〃	〃	
足について	大辻清司	〃	〃	〃	
からまりのオブジェ	〃	〃	〃	〃	
物体 A	〃	〃	〃	〃	
戦災に焼け残った蔵 東京・中野坂上	〃	〃	〃	〃	
新宿・夜Ⅰ 東京・新宿駅南口	〃	〃	〃	〃	
新宿・夜Ⅲ 東京・新宿駅南口	〃	〃	〃	〃	
ショーウィンドウⅠ 東京・本郷	〃	〃	〃	〃	
ショーウィンドウⅡ 東京・本郷	〃	〃	〃	〃	
ショーウィンドウⅢ 東京・本郷	〃	〃	〃	〃	
水紋Ⅱ 群馬・赤城山・大沼	〃	〃	〃	〃	
水紋Ⅲ 群馬・赤城山・大沼	〃	〃	〃	〃	
無言歌Ⅰ 東京・谷原	〃	〃	〃	〃	
無言歌Ⅱ 東京・豊洲	〃	〃	〃	〃	
黒板塀Ⅰ 埼玉・秩父	〃	〃	〃	〃	
黒板塀Ⅱ 埼玉・秩父	〃	〃	〃	〃	
航空機 東京・羽田空港	〃	〃	〃	〃	
軽井沢にて	金井精一	〃	〃	〃	
ピヤホール	〃	〃	〃	〃	
デン助君	〃	〃	〃	〃	
板壁	〃	〃	〃	〃	
家	〃	〃	〃	〃	
青空楽団	〃	〃	〃	〃	
おもちゃ屋	〃	〃	〃	〃	
車内にて	〃	〃	〃	〃	
街角	〃	〃	〃	〃	
ロック座裏	〃	〃	〃	〃	
ロック座楽屋口	〃	〃	〃	〃	
サーカス	〃	〃	〃	〃	
おもちゃ屋	〃	〃	〃	〃	
扉の雪 (「ある日ある所」より)	石元泰博	〃	〃	〃	
扉の雪 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
雪と車 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
雪と車 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
教会の窓 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
教会の窓 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
ノース・アベニュー・ビーチ (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
ノース・アベニュー・ビーチ (「ある日ある所」より)	石元泰博	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—	
子供<4 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
子供<4 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
子供<4 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
子供<6 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
子供<6 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
子供<6 (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
ハローウィン (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
ハローウィン (「ある日ある所」より)	〃	〃	〃	〃	
「<11時02分>NAGASAKI」より 10点	東松照明	〃	〃	〃	
波照間島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
波照間島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
波照間島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
宮古島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
新城島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
渡嘉敷島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
西表島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
西表島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
西表島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
宮古島 (「太陽の鉛筆」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #1 (「王国」より)	奈良原一高	〃	〃	〃	
沈黙の園 #3 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #4 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #5 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #23 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #25 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #45 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #52 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
沈黙の園 #53 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
壁の中 #1 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
壁の中 #3 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
壁の中 #11 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
壁の中 #17 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
壁の中 #29 (「王国」より)	〃	〃	〃	〃	
高射砲陣地跡 (「地図」より)	川田喜久治	〃	〃	〃	
トーチカ内部 落書き (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
火薬庫跡 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
原爆ドーム 太陽 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
鉄屑 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
被爆者の腕 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
特攻隊の写真 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
原爆ドーム天井しみ (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
原爆ドーム内部しみ (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
中学生原爆死夏服上衣 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
九十才 日本人 記念品 勲章 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
原爆ドーム 内部 (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
ラッキーストライク (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
コココーラ (「地図」より)	〃	〃	〃	〃	
高射砲陣地跡	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #1	細江英公	〃	〃	〃	
おとこと女 #4	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #6	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #8	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #10	〃	〃	〃	〃	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
おとこと女 #16	細江英公	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—	
おとこと女 #19	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #20	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #24	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #25	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #29	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #33	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #34	〃	〃	〃	〃	
おとこと女 #36	〃	〃	〃	〃	
船橋市 ヘルスセンター 7月17日(「東京人」より)	高梨豊	〃	〃	〃	
千代田区 丸の内松竹 4月4日 ビートルズ映画大会 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
豊島区 西武デパート 4月25日(「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 新宿駅ビル 3月21日 東京・ニューヨーク姉妹校絵画展 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 歌舞伎町つり堀 6月13日 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
台東区 浅草寺 8月29日 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
文京区 東大 5月23日 五月祭 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 伊勢丹 10月23日 タミーちゃん ¥1,000 ベンバーちゃん ¥700 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
台東区 上野駅 12月30日 '64 東レフレッシュコート (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 新宿4 5月1日 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 新宿駅西口広場 3月28日 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
足立区 竹ノ塚 第2団地 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
渋谷区 代々木国立屋内競技場 私たちの住まい展 10月17日→11月8日 (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
千代田区 東京駅 (「東京人」より)	高梨豊	〃	〃	〃	
新宿区 角筈-1 ビュフェととや (「東京人」より)	〃	〃	〃	〃	
新宿区 新宿駅 2月12日	〃	〃	〃	〃	
につぼん劇場 (「につぼん劇場写真帖」より)	森山大道	〃	〃	〃	
につぼん劇場 (「につぼん劇場写真帖」より)	〃	〃	〃	〃	
暁の1号線 (三重県桑名市朝日町) (「狩人」より)	〃	〃	〃	〃	
背のびして見る海峡を (「狩人」より)	〃	〃	〃	〃	
犬の町 (「狩人」より)	〃	〃	〃	〃	
地平線 〈何かへの旅-7〉より (「狩人」より)	〃	〃	〃	〃	
「狩人」より	〃	〃	〃	〃	
「狩人」より	〃	〃	〃	〃	
「狩人」より	〃	〃	〃	〃	
桜花	〃	〃	〃	〃	
夕張 (「北海道」より)	〃	〃	〃	〃	
日本三景その3むつ松島 (「続につぼん劇場写真帖」より)	〃	〃	〃	〃	
キャベツ	〃	〃	〃	〃	
五所川原 (「続につぼん劇場写真帖」より)	〃	〃	〃	〃	
埼玉越生梅祭 1976年3月14日 (「風姿花伝」より)	須田一政	〃	〃	〃	
群馬安中 1976年 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	
群馬太田 1975年6月8日 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	
鎌倉明月院 1975年6月21日 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	
横浜山下公園港祭 1976年5月 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	
山形尾花沢花笠祭 1976年8月27日 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	
秋田西馬音内盆踊り 1976年8月18日 (「風姿花伝」より)	〃	〃	〃	〃	



作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
山形銀山温泉 1976年8月28日 〔風姿花伝〕より	須田一政	2006/6/25—2006/9/8	群馬県立館林美術館	昭和の記憶—写真に甦る 人々の情景—	
茨城阿字ヶ浦 1977年8月7日〔風姿花伝〕より					
群馬館林 1976年6月6日〔風姿花伝〕より	〃	〃	〃	〃	
鎌倉長谷観音ぼたん祭 1976年6月12日 〔風姿花伝〕より	〃	〃	〃	〃	
岐阜郡上八幡 1975年12月3日 〔風姿花伝〕より	〃	〃	〃	〃	
神奈川三浦三崎 1975年6月2日 〔風姿花伝〕より	〃	〃	〃	〃	
埼玉秩父小鹿野鉄砲祭 1976年12月15日 〔風姿花伝〕より	〃	〃	〃	〃	
〔センチメンタルな旅〕より 15点	荒木経惟	〃	〃	〃	
〔SELF AND OTHERS〕(60点組)より 15点	牛腸茂雄	〃	〃	〃	
〔家〕(12点組)より 12点	田村彰英	〃	〃	〃	
〔道〕(12点組)より 12点	〃	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW25008 〔LIME WORKS〕より	畠山直哉	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW30214 〔LIME WORKS〕より	〃	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW30504 〔LIME WORKS〕より	〃	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW35508 〔LIME WORKS〕より	〃	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW37507 〔LIME WORKS〕より	〃	〃	〃	〃	
LIME WORKS LW39316 〔LIME WORKS〕より	〃	〃	〃	〃	
萩茶碗	三輪休雪(11代)	2006/7/1—2007/7/10	東京国立近代美術館、山 口県立萩美術館・浦上記 念館、茨城県陶芸美術館、 朝日新聞社	萩焼の造形美 「人間国宝 三輪霽雪の世界」	
萩水指	〃	〃	〃	〃	
萩茶碗	〃	〃	〃	〃	
萩茶碗	〃	〃	〃	〃	
萩茶碗	〃	〃	〃	〃	
萩茶碗	〃	〃	〃	〃	
白萩手桶花入	〃	〃	〃	〃	
羅漢図(右幅)	狩野芳崖	2006/7/6—2006/12/26	鳥根県立石見美術館、 和歌山県立近代美術館、 静岡県立美術館	森鷗外と美術	
羅漢図(左幅)	〃	〃	〃	〃	
懸崖飛沫図	〃	〃	〃	〃	
絞り	永地秀太	〃	〃	〃	
萩檜垣文筆洗形割高台茶碗	不詳	2006/10/10—2006/11/28	出雲市立出雲伝承館	萩焼と出雲焼の名品展	
萩三島写茶碗「権葉」	不詳	〃	〃	〃	
萩割高台茶碗	不詳	〃	〃	〃	
萩茶碗 銘「立田」	不詳	2006/10/9—2006/11/28	飯塚市歴史資料館	九州の茶陶展	
萩馬上杯形茶碗	不詳	〃	〃	〃	
萩井戸形茶碗	不詳	〃	〃	〃	
萩茶碗「巖松」	不詳	〃	〃	〃	
萩割高台茶碗	不詳	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	2006/12/25—2007/3/30	国立新美術館	国立新美術館開館記念展 「20世紀を超えて—アーティスト たちの三つの冒険物語—」	寄託
猿猴図	森周峰	2007/2/28—2007/5/16	府中市美術館	動物絵画の100年	
熊図	森一鳳	〃	〃	〃	
孔雀図	朝倉南陵	〃	〃	〃	
土灰青磁裡置物	六代三輪喜楽	2007/3/7—2007/6/20	滋賀県立陶芸の森	ようこそ!たぬき御殿へ —おもしろき日本の狸表現—	寄託

## (2) コレクション

### ※凡例

以下の目録は2005（平成17）年4月から2007（平成19）年3月までに収蔵された館蔵品を網羅したものである。作品の整理方針および個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』に準じている。すなわち、作品は日本画（J）・洋画（O）・水彩画（W）・素描（D）・版画（P）・写真（Ph）・彫刻（S）・工芸（C）・書（Ca）・資料（R）の順で編集し、また個々のデータについては、整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・素材技法・寸法（cm）・収蔵年度とその経緯の順で記した。整理番号は、『山口県立美術館年報平成15～16年』に続く通し番号である。



J-257  
松林桂月  
MATSUBAYASHI, Keigetsu  
1876～1963  
燕語春風図  
Swallows Talking about a  
Springtime  
昭和初期（1925～35頃）  
絹本墨画淡彩  
144.8×41.3  
平成17年度 寄贈  
市川敦世氏 寄贈



O-198  
香月泰男  
KAZUKI, Yasuo  
1911～1974  
避難民  
Refugees  
1960年  
油彩、カンヴァス  
117.1×73.4  
平成17年度 購入



O-199  
香月泰男  
KAZUKI, Yasuo  
1911～1974  
黒い太陽  
Black Sun  
1962年  
油彩、カンヴァス  
162.1×112.0  
平成17年度 購入



O-200  
桑重儀一  
KUWASHIGE, Giichi  
1883～1943  
アネモネ  
Anemone  
昭和初期（1925～35頃）  
油彩、板  
20.7×27.0  
平成17年度 寄贈  
田尻和彦氏 寄贈



O-201  
桑重儀一  
KUWASHIGE, Giichi  
1883～1943  
外国風景  
Landscape  
昭和初期（1925～35頃）  
油彩、カンヴァス  
34.8×26.8  
平成17年度 寄贈  
田尻和彦氏 寄贈



O-202  
桑重儀一  
KUWASHIGE, Giichi  
1883～1943  
無題（牧場風景）  
Landscape  
1940年  
油彩、カンヴァス  
53.1×73.0  
平成17年度 寄贈  
田尻和彦氏 寄贈



O-203  
香月泰男  
KAZUKI, Yasuo  
1911～1974  
芝居小屋  
Theater  
1931～36年頃  
油彩、カンヴァス  
33.2×24.2  
平成18年度 寄贈  
大林春雄氏 寄贈



O-204  
香月泰男  
KAZUKI, Yasuo  
1911～1974  
裸婦  
Nude  
1931～36年頃  
油彩、カンヴァス  
33.0×23.8  
平成18年度 寄贈  
大林春雄氏 寄贈



O-205  
永地秀太  
NAGATOCHI, Hideta  
1873～1942  
静物  
Still Life  
1924年  
油彩、カンヴァス  
41.0×53.3  
平成18年度 寄贈  
永地博正氏 寄贈

Ph-2131 ~ Ph-2191

荒木経惟 ARAKI, Nobuyoshi

1940 ~

農を撮る

Taking the Pictures of Farming in Yamaguchi

2001年

ゼラチン・シルヴァー・プリント

各25.4×30.5 61点

平成17年度 寄贈

全国農業協同組合連合会山口県本部 寄贈



Ph-2131



Ph-2132



Ph-2133



Ph-2134



Ph-2135



Ph-2136



Ph-2137



Ph-2138



Ph-2139



Ph-2140



Ph-2141



Ph-2142



Ph-2143



Ph-2144



Ph-2145



Ph-2146



Ph-2147



Ph-2148



Ph-2149



Ph-2150



Ph-2151



Ph-2152



Ph-2153



Ph-2154



Ph-2155



Ph-2156



Ph-2157



Ph-2158



Ph-2159



Ph-2160



Ph-2161



Ph-2162



Ph-2163



Ph-2164



Ph-2165



Ph-2166



Ph-2167



Ph-2168



Ph-2169



Ph-2170



Ph-2171



Ph-2172



Ph-2173



Ph-2174



Ph-2175



Ph-2176



Ph-2177



Ph-2178



Ph-2179



Ph-2180



Ph-2181



Ph-2182



Ph-2183



Ph-2184



Ph-2185



Ph-2186



Ph-2187



Ph-2188



Ph-2189



Ph-2190



Ph-2191



Ph-2192  
 フランク・アサキチ・クニシゲ  
 KUNISHIGE, Frank Asakichi  
 1878～1960  
 アニトラの踊り  
 Anitra's Dance  
 1921年  
 ゴム印画法  
 24.1 × 17.3  
 平成17年度 購入



Ph-2193  
 フランク・アサキチ・クニシゲ  
 KUNISHIGE, Frank Asakichi  
 1878～1960  
 ハマドリユアス  
 Hamadryad  
 1924頃  
 ゴム印画法  
 24.5 × 19.1  
 平成18年度 購入



P-186  
 郭徳俊  
 KWAK, Duck-Jun  
 1937～  
 フォードと郭 (B)  
 Ford and Kwak (B)  
 1976年  
 リトグラフ  
 63.5 × 89.7  
 平成18年度 寄贈  
 作者 寄贈



C-222  
 山本晃  
 YAMAMOTO, Akira  
 1944～  
 接合せ箱「麦秋」  
 Octagonal Box  
 1999年  
 金・銀・銅およびその合金  
 径14.0高17.7  
 平成17年度 寄贈  
 作者 真道氏 寄贈  
 神田 栄子氏



C-223  
 山本晃  
 YAMAMOTO, Akira  
 1944～  
 銀四分一赤銅接合せ箱「青響」  
 Square Box  
 2000年  
 金・銀・銅およびその合金  
 12.0 × 23.3 × 15.0  
 平成17年度 寄贈  
 真道氏 寄贈  
 神田 栄子氏

R-89  
 内藤鳳岳  
 NAITO, Hogaku  
 1804～71  
 花鳥人物図  
 Flowers, Birds and Figures  
 江戸時代末期19世紀  
 紙本墨画淡彩 六曲屏風一雙  
 各扇133.4 × 52.0～54.0  
 平成18年度 寄贈  
 松浦允子氏 寄贈

R-90  
 雲谷派  
 Unkoku School  
 楼閣山水図  
 Landscape with Edifices  
 江戸時代後期18～19世紀  
 紙本墨画淡彩 六曲屏風一雙  
 各150.0 × 352.0  
 平成18年度 寄贈  
 石田勝臣氏 寄贈

R-91  
 永地秀太  
 NAGATOCHI, Hideta  
 1873～1942  
 静物  
 Still Life  
 1926年  
 油彩、カンヴァス  
 38.4 × 45.7  
 平成18年度 寄贈  
 永地博正氏 寄贈

R-92  
 永地秀太  
 NAGATOCHI, Hideta  
 1873～1942  
 静物  
 Still Life  
 1930年  
 油彩、カンヴァス  
 53.3 × 45.8  
 平成18年度 寄贈  
 永地博正氏 寄贈

R-93  
 香月泰男？  
 Unknown Artist  
 花  
 Flower  
 1932年  
 油彩、カンヴァス  
 32.0 × 20.5  
 平成18年度 寄贈  
 大林春雄氏 寄贈

### (3) 美術図書

#### 平成17年度

図書	588冊
カタログ	725冊
逐次刊行物	269冊

#### 平成18年度

図書	397冊
カタログ	389冊
逐次刊行物	266冊





# 入館者数一覧

平成17年度 (2005)

展覧会名	開催期間	有 料										
		個 人					団 体					小計
		一般		学生		計	一般		学生		計	
		料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	人数	
常設展	17. 4. 1～ 4.10 (9)	190	98	120	2	100	160		100		0	100
興福寺国宝展	17. 4.12～ 5.22 (41)	1,200	49,802	1,000	974	50,776	1,000	268	800	105	373	51,149
平成17年度 合計			49,900		976	50,876		268		105	373	51,249

平成18年度 (2006)

展覧会名	開催期間	有 料										
		個 人					団 体					小計
		一般		学生		計	一般		学生		計	
		料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	人数	
常設展	18. 4. 1～ 3.31 (242)	190	4,896	120	184	5,080	160	111	100	40	151	5,231
ウィーン美術アカデミー 名品展	18. 4. 7～ 5.21 (40)	1,200	25,030	1,000	610	25,640	1,000	249	800	78	327	25,967
第29回伝統工芸新作展	18. 5.26～ 6. 4 (9)	300	566	300	2	568					0	568
第60回山口県美術展覧会	18. 9. 7～ 9.24 (16)	250	3,432	200	89	3,521	200		150		0	3,521
雪舟への旅	18.11. 1～ 11.30 (29)	1,300	31,484	1,100	473	31,957	1,100	1,562	900	23	1,585	33,542
第59回山口県学校美術 展覧会	18.12.19～ 12.24 (6)					0					0	0
山口県高等学校 総合文化祭展示部門展	19. 1.11～ 1.14 (3)					0					0	0
県大卒業制作展	19. 1.31～ 2. 4 (5)					0					0	0
芸短卒業制作展	19. 2. 8～ 2.11 (4)					0					0	0
山大卒業制作展	19. 2.15～ 2.18 (4)					0					0	0
子どもたちの写真展	19. 3.24～ 3.31 (7)					0					0	0
平成18年度 合計			65,408		1,358	66,766		1,922		141	2,063	68,829

無 料											合 計
高校生	小・中生	18才以下 のその他	招待券 ポスター	案内状	老人 (70以上)	身障	教育・文化週間 無料展覧会		その他	小計	
							一般	学生			
1	3	3			34	4			3	48	148
1,489	5,084	114	7,796	210	12,066	1,616			4,457	32,832	83,981
1,490	5,087	117	7,796	210	12,100	1,620	0	0	4,460	32,880	84,129

無 料											合 計
高校生	小・中生	18才以下 のその他	招待券 ポスター	案内状	老人 (70以上)	身障	教育・文化週間 及び無料展覧会		その他	小計	
							一般	学生			
104	372	88	14		1,635	268			361	2,842	8,073
833	4,070	147	6,426	382	6,253	944			3,116	22,171	48,138
1	19		304	144	257	20			98	843	1,411
39	166	3	446	81	1,025	120			311	2,191	5,712
743	4,669	141	7,776	556	21,115	1,573			35,092	71,665	105,207
91	991	4			216	15	2,701	325	475	4,818	4,818
160	22	4			57	2	298	3		546	546
2	17	12			31	1	276	147		486	486
5	22	14			59	1	561	153	1	816	816
		8			16		253	127		404	404
8	114	8			51		274	6		461	461
1,986	10,462	429	14,966	1,163	30,715	2,944	4,363	761	39,454	107,243	176,072



# 組織等



## 美術館顧問

乾 由明 金沢美術工芸大学学長  
武田 恒夫 大手前女子大学教授  
富山 秀男 プリヂストン美術館館長  
友近 琢男 山口大学名誉教授（平成17年度のみ）  
三輪 壽雪 重要無形文化財萩焼保持者  
（以上平成17・18年度）

## 美術品収集審査委員

浦上 敏朗 山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長  
奥平 俊六 大阪大学文学部教授  
奥津 聖 山口大学人文学部教授  
菊屋 吉生 山口大学教育学部助教授  
森川絃一郎 周南市立美術博物館長

## 美術館職員構成

館長		松原 清
副館長	(事)	藤井 一六
副館長	(事)	安井雄一郎

## 総務課

課長	(事)	長尾 勉
主任	(事)	三好 潤一
	(事) 主 事	西野真由美

## 学芸課

課長	(事)	斎藤 郁夫
主任	(事)	荻開津通彦
	(事) 専門学芸員	岩井 共二
	(事) 学芸員	劔持あずさ

## 普及課

課長	(事)	河野 通孝
主任	(事)	前田 淳子
	(事) 学芸員	杉野 愛

（以上平成17・18年度）

## 職員の動静（平成17・18年度）

17.3 館長（非常勤） 上野孝明、退職

17.4 館長（非常勤） 松原清、任用

学芸専門監 安井雄一郎、副館長に昇任

学芸課主任 河野通孝、普及課長に昇任

普及課主任 荏開津通彦、学芸課主任に転出

普及課専門学芸員 前田淳子、普及課主任に昇任

総務課主事 塚本敬太郎、秘書課に転出

周南健康福祉センター主事 西野真由美、総務課に転入





---

発 行 山口県立美術館  
          山口市亀山町3-1  
          Tel 083-925-7788 (代表)  
          Fax 083-925-7790 (総務課)  
          Fax 083-925-7784 (学芸・普及課)  
発行日 平成21年3月20日  
印 刷 大村印刷株式会社  
          Tel 0835-22-2555

---







